



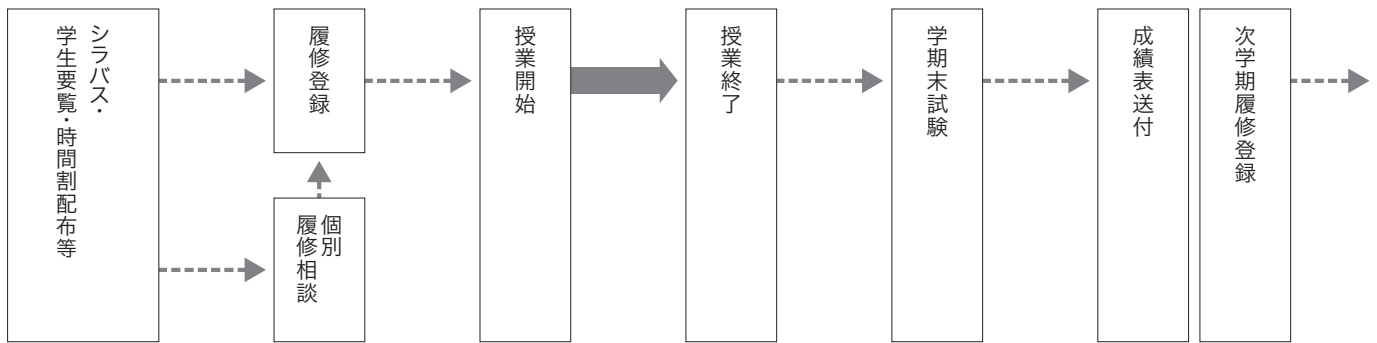
Chapter 2 学部教育

聖学院大学の学部教育の特色は、専門教育はもちろんのこと、どの学部学科に所属していても、各学部が提供する専門基礎科目を広く学んでいくことができますので、専門性と幅広い教養を身に付けることができるということです。

1年次には専任教員1人に対して10～13人の学生でアドバイザークラスが構成され、授業の履修の仕方や大学生活について助言を受けることができます。また1学科が100名という大きさで、授業も8割が50人以下クラスですので、教員と学生、あるいは学生同士がフレンドリーな雰囲気の中で学んでいます。その良さは専門教育を行うゼミや演習、実習にも引き継がれ、さらに卒業した後も盛んに交流が行われていますが、これも聖学院大学の誇る特色の一つです。

履修について

大学生活の流れ



時間割

大学生になると、自分の履修科目を自ら計画し、時間割をつくるのが出来ます。しかし、ただ好きなことや興味のあることだけを選択できるという訳ではありません。時間割を組む際には、いくつかの履修条件(ルール)があります。例えば、学科ごとに履修できる単位数の上限があり、それを超える履修はできません。また、科目によっては対象学年や履修順序が定められていることもあります。時間割を組む際は、これらのルールに注意して履修計画を立てなければなりません。なお、履修計画については個別相談も行っています。4年間の計画的な履修計画で充実した大学生活を送ることができるように万全のサポートを行っています。

時間割の組み方

①必修科目を入れる。

自分の学科・学年に該当する必修科目(卒業までに必ず単位修得しなければならない科目)の時間を確認します。その時間帯には他の科目を入れることはできません。

②選択科目を入れる。

必修科目に必要な時間以外の空き時間に選択科目を選択します。ここでは、他学科の授業を選択することも出来ますが、所属学科の専門科目の履修を優先させます。また、選択科目には、卒業に必要な選択必修科目もあるので注意が必要です。

単位

聖学院大学では大学設置基準に基づく単位制度を採用しています。「単位制」は、大学で開設されている授業から所定の科目を履修し、4年間の在学期間中に卒業に必要な単位を修得していく制度です。本学を卒業するためには、基礎科目・教養科目・専門科目等から最低、計124単位を修得する必要があります。そのため、計画的に単位修得をしなければなりません。履修した科目の単位を修得するためには、最低でも2/3以上の出席が必要条件となります。また、各科目ごとに課せられる試験を受験し、レポートをきちんと提出することも条件となっています。

履修登録

大学では、授業を履修するには、まずその科目を受講するための登録が必要です。各学期ごとに各自の履修計画に沿った科目を、指定された履修登録期間に登録します。聖学院大学の学生はWebを利用して登録を行っています。履修希望者の多い科目は人数制限を行う場合もあります。

セメスター制

聖学院大学では、1年を春学期(4~9月)と秋学期(10~3月)の2学期に分けて授業を行うセメスター制度を導入しています。各学期にそれぞれ履修登録・授業・試験・成績発表があります。

セメスター制では、1科目の授業が週2回行われることになります。そのため学生の1週間における学習科目数が減るので、1科目のために、より多くの時間とエネルギーを注ぐことができるようになり、学習効果が向上します。また、履修登録も1年に2回行うことになるので、柔軟性のある履修が可能になります。

さらに、海外の大学の授業周期と似た形態をとることになるので、留学などを考える学生にとっては留学先の事情に対応しやすいといった効果があげられます。

授業・試験・成績について

通常月曜から金曜は5限まで、土曜日は2限までの授業を各90分間で行います。火~金曜日は、全学礼拝が1限

月・土曜日(土曜は2限まで)		火~金曜日	
1限	8:40~10:10	1限	8:40~10:10
2限	10:20~11:50	礼拝	10:20~10:50
3限	12:50~14:20	2限	11:00~12:30
4限	14:30~16:00	3限	13:30~15:00
5限	16:10~17:40	4限	15:10~16:40
		5限	16:50~18:20

と2限の間に30分間あるため、月・土曜日の授業時間帯とは異なります。

試験は基本的に春学期・秋学期の学期末ごとに実施します。試験には教室で行われる「教場試験」の他にレポートの提出を試験に代える科目もあります。成績発表は年2回、学期ごとに成績通知表が学生に送付され、成績によっては不合格となり単位の修得ができない場合もあります。そのため、聖学院大学では学業結果を総合的に判断する成績評価制度を採用し、公平な成績評価を実施しています。

基礎科目

大学教育を受けるための基礎を養うとともに、
聖学院大学の理念の理解および実現への姿勢を整える科目群です。

基礎科目群は、基礎科目、英語科目、第二外国語科目、スポーツ科目、キリスト教関連科目その他からなっています。

主な担当教員専門分野

※ラーニングセンター、学生相談室の教員はP.59参照



特任講師
C. ギブソン
Teaching English to
Speakers of Other
Languages



特任講師
J. R. バーン
TESOL and Computer
Assisted Language
Learning



特任講師
K. A. ヒル
Socio-Cultural Theory and
Cognitive Grammar



特任講師
島田 洋子
第二言語習得



特任講師
チェンバレン 暁子
第二言語習得・マルチ
メディアを用いた英語教育



特任講師
メイス みよ子
第二言語習得



特任講師
棚橋 明美
第二言語としての日本語
教育

開設科目

必修科目:◎ 必修選択科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
キリスト教概論		
キリスト教概論A	相澤 一/石田 学/菊地 順/久保島 理恵/左近 豊/ 佐野 正子/藤原 淳賀/柳田 洋夫/山ノ下 恭二	◎
キリスト教概論B	相澤 一/石田 学/菊地 順/久保島 理恵/左近 豊/ 佐野 正子/藤原 淳賀/柳田 洋夫/山ノ下 恭二	◎
書き方		
基礎教育入門(書き方)	新井 尚子/上嶋 康道/小林 茂之/副田 恵/ 中島 佐和子/松村 良/吉田 憲一	◎
書き方表現 応用講座	高桑 佳與子/松村 良	△
話し方		
基礎教育入門(話し方)	秋山 隆/岡部 晃彦/寺田 道雄/村田 昭	◎
話し方表現応用講座	川野 一宇	△
PC基礎		
コンピュータ応用講座A	二神 常爾	△
コンピュータ応用講座B	鈴木 省吾	△
コンピュータ応用講座(資格A)	国分 道雄	△
コンピュータ応用講座(資格B)	国分 道雄	△
情報リテラシー	国分 道雄	◎
ITパスポート講座	国分 道雄	△
情報基礎	国分 道雄	◎
英語		
ECA(Speaking) I (Level A)	C. ギブソン/J. バーン/K. ヒル	◎
ECA(Speaking) I (Level B)	C. ギブソン/K. ヒル	◎
ECA(Speaking) I (Level C/D)	L.アーノルド/C. カール/川田 牧人/J. バーン/K. ヒル	◎
ECA(Speaking) I (All)	J. バーン/K. ヒル	◎
ECA(Speaking) I (Super A)	M. サベット	◎
ECA(Speaking) II (All)	J. バーン/K. ヒル	△
ECA(Speaking) II (Level A)	C. ギブソン/J. バーン	◎
ECA(Speaking) II (Level B)	K. ヒル	◎
ECA(Speaking) II (Level C/D)	C. カール/川田 牧人/J. バーン	◎

科目名	担当教員	必修/選択
ECA(Speaking) II (Super A)	M. サベット	◎
ECA(Cinema) I	島田 洋子/鈴木 仁/チェンバレン 暁子/中川 英 幸/能町 和子/メイス みよ子	◎
ECA(Cinema) I	鈴木 仁/中川 英幸/能町 和子	△
ECA(Cinema) I (Super A)	長崎 睦子	◎
ECA(Cinema) II	島田 洋子/鈴木 仁/チェンバレン 暁子/ 中川 英幸/能町 和子	◎△*2
ECA(Cinema) II (Super A)	中村 香代子	◎
ECA(Reading) I (Super A)	メイス みよ子	◎
ECA(Reading) II (Super A)	メイス みよ子	◎
ECA(Reading) I	印田 佐知子/川田 牧人/島田 洋子/鈴木 仁/ チェンバレン 暁子/中川 英幸/メイス みよ子/森 容子	◎
ECA(Reading) I	島田 洋子/チェンバレン 暁子	△
ECA(Reading) II	島田 洋子/チェンバレン 暁子/中村 香代子/森 容子	◎△*2
ECA(Communication) A (Level A)	C. ギブソン	△
ECA(Communication) A (Level B)	L.アーノルド/J. バーン	△
ECA(Communication) B (Level A)	C. ギブソン	△
ECA(Communication) B (Level B)	L.アーノルド/J. バーン	△
ECA(Cinema) III	島田 洋子/メイス みよ子	△
ECA(Culture) A (Level A)	川田 牧人/チェンバレン 暁子	△
ECA(Culture) A (Level B)	島田 洋子/中川 英幸	△
ECA(Culture) B (Level A)	能町 和子	△
ECA(Culture) B (Level B)	島田 洋子	△
ECA(Survival English)	C. カール/C. ギブソン/J. バーン/K. ヒル	△
ECA(Test English) A (Level A)	チェンバレン 暁子/メイス みよ子	△
ECA(Test English) A (Level B)	島田 洋子	△
ECA(Test English) B (Level A)	チェンバレン 暁子	△
ECA(Test English) B (Level B)	島田 洋子	△

*1 科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載していません)。留学生用の科目は含みません。

*2 欧米文化学科のみ必修、他学科は選択科目。

科目名	担当教員	必修/選択
ECA(English Through Songs)A	C. ギブソン	△
ECA(English Through Songs)B	C. ギブソン/K. ヒル	△
ECA(Presentation English)	K.O.アングラスン	△
ECA(Pleasure Reading)A	能町 和子	△
ECA(Pleasure Reading)B	印田 佐知子	△
ECA(Business)A	チェンバレン 暁子	△
ECA(Business)B	チェンバレン 暁子	△
第二外国語		
ドイツ語Ⅰ(初級A)	小谷 哲夫/清水 威能子/宮崎 泰行	△
ドイツ語Ⅱ(初級B)	清水 威能子/宮崎 泰行	△
ドイツ語Ⅲ(中級A)	小谷 哲夫/清水 威能子	△
フランス語Ⅰ(初級A)	石田 明夫/塩谷 祐人/小室 廉太/本田 貴久	△
フランス語Ⅰ(初級A) ※A優先	石田 明夫/小室 廉太/本田 貴久	△
フランス語Ⅱ(初級B)	塩谷 祐人/小室 廉太	△
フランス語Ⅱ(初級B) ※A優先	石田 明夫/小室 廉太/本田 貴久	△
フランス語Ⅲ(中級A)	石田 明夫/小室 廉太/本田 貴久	△
スペイン語Ⅰ(初級A)	越智 直子/宮内 ふじ乃	△
スペイン語Ⅱ(初級B)	越智 直子	△
中国語Ⅰ(初級A)	閻 子謙/新田 小雨子/福田 素子	△
中国語Ⅱ(初級B)	閻 子謙/新田 小雨子/福田 素子	△
韓国語Ⅰ(初級A)	奇 ジョンミン/北原 スマ子/溝口 カブスン	△
韓国語Ⅱ(初級B)	奇 ジョンミン/北原 スマ子/溝口 カブスン	△
スポーツ科目		
健康・体力づくり実習A	梅津 迪子/太田 涼/鈴木 由美/神田 良太郎/関 一誠/安部 久貴	△
健康・体力づくり実習B	梅津 迪子/太田 涼/鈴木 由美/神田 良太郎/関 一誠/安部 久貴	△
生涯スポーツ実習A	梅津 迪子/太田 涼/鈴木 由美/関 一誠/安部 久貴/鈴木 由美	△
生涯スポーツ実習B	梅津 迪子/太田 涼/鈴木 由美/関 一誠/安部 久貴/鈴木 由美	△
キリスト教関連科目		
聖書の世界A	左近 豊	△
聖書の世界B	左近 豊	△
神と人間A	相澤 一	△
神と人間B	相澤 一	△
イングリッシュ・バイブルA	E. D.オズバーン	△
イングリッシュ・バイブルB	E. D.オズバーン	△
聖書と現代	左近 豊	△
キリスト教と物語	藤原 淳賀	△
日本キリスト教史A	柳田 洋夫	△
日本キリスト教史B	柳田 洋夫	△
キリスト教とデモクラシー	阿久戸 光晴	△
キリスト教と歴史形成A	石田 学	△
キリスト教と歴史形成B	石田 学	△
近代社会とピューリタニズムA	松谷 好明	△
近代社会とピューリタニズムB	松谷 好明	△
キリスト教と政治思想A	川添 美央子	△
キリスト教と政治思想B	川添 美央子	△
キリスト教と社会科学	松原 望	△
キリスト教と法	加藤 恵司	○
キリスト教と国際社会B	早藤 昌浩	△
キリスト教と日本社会A	柳田 洋夫	△
キリスト教と日本宗教	濱田 辰雄	△

科目名	担当教員	必修/選択
キリスト教と日本思想	濱田 辰雄	△
キリスト教と倫理的諸問題A	小倉 義明	△
キリスト教と倫理的諸問題B	深井 智朗	△
キリスト教信仰と文化	藤原 淳賀	△
キリスト教とアメリカ思想A	高橋 義文	△
キリスト教とアメリカ思想B	高橋 義文	△
キリスト教とアメリカ文化A	森田 美千代	△
キリスト教とアメリカ文化B	森田 美千代	△
キリスト教とアジア文化B	高 萬松	△
キリスト教とアジア文化B	高 萬松	○
キリスト教と古典	小倉 義明	△
キリスト教と自然科学A	標 宣男	△
キリスト教と自然科学B	標 宣男	△
聖書の中の環境問題	村上 公久	△
キリスト教と音楽A	渡辺 善忠	△
キリスト教と音楽B	渡辺 善忠	△
キリスト教音楽史A	渡辺 善忠	△
キリスト教音楽史B	渡辺 善忠	△
キリスト教と美術A	喜田 敬	△
キリスト教と美術B	喜田 敬	△
キリスト教と建築A	香山 壽夫	△
キリスト教と建築B	香山 壽夫	△
キリスト教と高齢者福祉の実際A	児島 康夫	△
キリスト教と社会科学	松原 望	△
キリスト教カウンセリング論	藤掛 明	○
キリスト教カウンセリング論	藤掛 明	△
キリスト教と心のケア	村上 純子	△
キリスト教とアジア文化A	高 萬松	△
その他		
日本国憲法	伊藤 泰	△
日本国憲法(春1)	武藤 健一	△
日本国憲法(春2)	武藤 健一	△
日本国憲法(秋)	武藤 健一	△
アメリカ文化演習A	D. バーガー	△
アメリカ文化演習B	D. バーガー	△
オーストラリア文化演習	D. バーガー	△
カナダ文化演習	D. バーガー	△
海外文化演習(春)	D. バーガー	△
海外文化演習(夏)	D. バーガー	△

※科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。
 ※留学生用の科目は含みません。

教養科目

教養科目の目的は、本学のめざす人間形成に向けて幅広く深い教養を学ぶことにあります。所属する学部以外の科目群から選択し履修します。

教養科目は、A群(政経)、B群(欧米・日文)、C群(人間福祉)からなっています。

開設科目

必修科目:◎ 必修選択科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
A群		
政経	政治学	浅井 亜希/小畑 俊太郎/川添 美央子/張 殷珠/谷口 隆一郎/松尾 秀哉/森 達也/森分 大輔 △
	経済学	石部 公男/大森 達也/鈴木 真実哉/高橋 聡/谷 達彦/古市 将人/正上 常雄/由川 稔 △
	法学	石川 裕一郎/伊藤 泰/奥貫 紀文/皆川 誠/宮澤 弘/渡辺 英人 △
	社会学	阿部 英之助/田中 俊之/横山 寿世理/渡會 知子 △
環境学	村上 公久 △	
B群		
欧米	西洋史	小田原 琳/田中 史高/森 齊丈/山本 信太郎 △
	哲学	石田 安実/小林 剛/佐藤 啓介/高橋 章仁 △
	欧米文学	本田 貴久/三宅 美千代 △

科目名	担当教員	必修/選択
日文	言語学	田川 拓海 △
	文学	上宇都 ゆりほ/中島 佐和子 △
	日本史	川崎 司/山田 康弘 △
	日本思想	清水 正之/村松 晋 △
C群		
児童	演奏形式とその音楽	藤田 明 △
	西洋芸術の源流	四十九院 仁子 △
人間福祉	児童教育学	永井 理恵子 △
	福祉環境学	山田 義文 △
	心理学概論	吉田 沙蘭 △
	生命の科学	近藤 雅雄 △
	生理心理学	小川 時洋 △
一心と身体の科学	△	

※科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

総合科目

学部教育の総仕上げとして、問題を総合的、思索的、批判的に掘り下げて考える力を養うことを目標とし、4年次に開講します。

聖学院大学の教育の理念や建学の精神にも関わり、

さらには大学院との接続を考慮した、より高度な、あるいは学際的な内容の科目です。

本科目群は必須のものではありませんが、それまでの聖学院大学における学びをより発展させたい場合や、大学院への進学を志す者はぜひ取得したい科目です。

開設科目

必修科目:◎ 必修選択科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
経済学研究	柴田 武男	△
地球環境論研究	村上 公久	△
まちづくり論研究	平 修久	△
リスク科学論研究	標 宣男	△
欧米文化学特論	有賀 貞	△
日本思想文化研究	清水 正之	△
児童教育学特論	永井 理恵子	△

科目名	担当教員	必修/選択
児童学研究	田澤 薫	△
高齢者保健福祉特論	古谷野 亘	△
児童福祉特論	中谷 茂一	△
発達心理学研究	池 弘子	△

※科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

政治経済学科

基本情報

- 開設年度 1988年
- 学生数 1年次 112名
2年次 115名
3年次 111名
4年次 146名
(男415名/女69名)
2011年5月1日現在

学科目標

5本の柱を土台とした、幅広い基礎知識と深い専門知識とを併せ持った人材を育成します。

政治・経済・法律・社会・経営の5本の柱に基づいた、領域横断的なカリキュラムと、徹底した少人数教育を通じて、一人ひとりの個性を伸ばします。広い視野と確かな専門性を備えた人材を育成します。

学生一人ひとりの個性に合った《就職力》と《仕事力》を育成します。

民間企業のほか、議員事務所やNPOなどを含む多彩な受け入れ先でのインターンシップによる、学生の適性発見と職業体験の機会を提供します。各人が「自分らしさ」を一番発揮できる仕事を見つけ出すことをサポートします。

資格取得希望者・大学院進学希望者を手厚くバックアップします。

中学・高校教員資格の取得を積極的に奨励し、秘書検定や簿記検定の受験指導も行います。また、大学院進学などを個別指導で支援します。

学科概要

政治、経済、法律、社会、経営の5つの柱から、自分の興味や将来の目標に応じて総合的に広く、あるいは専門領域を深く学びます。現代社会への多彩なアプローチを通じて、変化の激しいこの時代に必要な真の実践力=「自由に考え、深く理解する力」を養います。

学びの支援体制

インターンシップ

民間企業や自治体、議員事務所など、現場体験を通して社会を学べるインターンシップ研修に力を入れ、学生の進路選択や、社会人へのスムーズなステップアップを後押ししています。

講演会・対談

加藤紘一氏や姜尚中氏、湯浅誠氏など有識者を招いての対談・講演会を実施。学生たちは事前にテーマについて勉強したり、ディスカッションを重ねて臨みます。

将来の活躍分野

商社で働く/金融業界で働く/起業・会社を経営する

政治・経済・経営の知識を活用して、会社経営のしくみから世界の動向までを柔軟に把握。活動分野は多岐にわたります。

公務員になる/教員になる/NPOで働く

法律や社会学の学びを活かせる公務員のほか、教員や社会福祉主事任用資格などを取得すれば教育・福祉分野にも活躍の場が広がります。

マスコミ業界で活躍する/ジャーナリズムに関わる

大学の授業で養われる、社会を敏感に正しく読み解く力はマスコミやジャーナリズム分野で求められる大切な能力です。

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許(地理・歴史、公民)
- 中学校教諭一種免許(社会)
- 図書館司書資格
- 学校図書館司書教諭資格
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格

専任教員一覧



学部長 教授
土方 透
理論社会学、リスク社会学、
社会システム理論



学部副チャプレン 准教授
相澤 一
組織神学



学部長 教授
吉田 博司
日本政治史、
日本政治思想史



教授
秋吉 祐子
現代中国論、比較社会
政策論(食・農・環境関連)



教授 兼一
後藤 兼一
経営管理、マネージメント、
経営倫理、経営情報、
経営システム



教授
柴田 武男
金融市場論



教授
村上 公久
森林資源学、森林水文学、
砂防工学、土壌浸食論、
環境保全論



教授
若松 昭子
図書館情報学、
情報メディア論



准教授
飯島 康夫
歴史地理学(地誌)



准教授
石川 裕一郎
憲法、フランス法



准教授
加藤 恵司
法思想史、民法(家族法)



准教授
高橋 愛子
西洋政治思想史、
政治過程論



准教授
松尾 秀哉
比較政治学



准教授
森分 大輔
現代政治理論



助教
横山 寿世理
自我の社会学、
記憶の社会学、社会学理論

主な開設科目【専門科目】

必修科目：◎ 必修選択科目：○ 選択科目：△

科目名	担当教員	必修/選択
専門基礎		
政治学	浅井 亜希 / 小畑 俊太郎 / 松尾 秀哉 / 森 達也 / 森分 大輔	◎
経済学	高橋 聡 / 谷 達彦 / 古市 将人 / 正上 常雄 / 由川 稔	◎
法学	石川 裕一郎 / 伊藤 泰 / 奥貫 妃文 / 加藤 恵司 / 皆川 誠 / 宮澤 弘	◎
社会学	阿部 英之助 / 鄭 錦碩 / 田中 俊之 / 横山 寿世理 / 渡會 知子	◎
キリスト教社会学倫理A	相澤 一	◎
キリスト教社会学倫理B	相澤 一	◎
キャリアデザインA	萬年山 啓	◎
キャリアデザインB	萬年山 啓	◎
環境学	村上 公久	△
政治学		
Japanese view of Nature & Landscape Architecture	村上 公久	△
NPO・NGO論 (国際協力)	林 明仁	△
環境保全論	村上 公久	△
行政学	佐々木 一如	△
公共政策論	大藪 俊志	△
国際機構論	中村 文子	△
国際政治論	秋吉 祐子	△
国際地域開発論	飯島 康夫	△
現代政治理論	森 達也	△
比較政治学	松尾 秀哉	△
政治哲学	森分 大輔	△
西洋政治思想史	高橋 愛子	△
地域圏研究(アメリカ)	小島 かおる	△
地域圏研究 (ヨーロッパ)	倉西 雅子	△
地域圏研究 (ロシア・東欧)	飯島 康夫	△
地域圏研究(アジアA)	秋吉 祐子	△
日本政治史	吉田 博司	△
日本政治思想史	吉田 博司	△
日本政治論	吉田 博司	△
平和学	小松崎 利明	△
都市化の地理学	飯島 康夫	△
マスコミュニケーション論A	小田川 興	△
マスコミュニケーション論B	小田川 興	△
行政法	仲田 孝仁	△
経済法	倉西 雅子	△
憲法(統治)	松村 芳明	△
国際人権・人道法	小松崎 利明	△
国際法	山村 恒雄	△
比較憲法	松村 芳明	△
法思想史	加藤 恵司	△
民法A(総則・物権)	松谷 秀祐	△
民法B(債権)	松谷 秀祐	△
民法C(親族・相続)	加藤 恵司	△

科目名	担当教員	必修/選択
経済学		
NPO・NGO論(非営利組織)	大高 研道	△
企業経済論A	柴田 武男	△
企業経済論B	柴田 武男	△
金融論	鈴木 真実哉	△
経済学史	鈴木 真実哉	△
公的扶助論	宮寺 良光	△
国際経済論	茂木 創	△
財政学	古市 将人	△
社会政策	金子 良事	△
地域経済論	瀬名 浩一	△
中小企業論A	砂川 和彦	△
中小企業論B	砂川 和彦	△
日本経済史	高橋 聡	△
比較経済体制論	大森 達也	△
マクロ経済学	石部 公男	△
ミクロ経済学	中野 宏	△
労使関係論	金子 良事	△
経営学		
異文化間コミュニケーション(経営)	T. アサモア	△
オペレーションズ・マネジメント	柴田 武男	△
会計学	成川 正晃	△
経営学	清澤 達夫 / 酒井 祐太郎	△
経営管理	後藤 兼一	△
経営システム	後藤 兼一	△
経営情報	後藤 兼一	△
経営倫理	後藤 兼一	△
国際ビジネスの現場A	柴田 武男	△
国際ビジネスの現場B	柴田 武男	△
ファイナンス	小林 一之	△
簿記	澤村 孝夫 / 山田 ひとみ	△
社会学		
アイデンティティの社会学	横山 寿世理	△
逸脱行為論	鮎田 実	△
家族社会学	中谷 茂一	△
ジェンダー論(男性学)	田中 俊之	△
社会調査論	新津 尚子	△
社会調査の実際	古谷 野 亘	△
理論社会学	土方 透	△
世界の諸宗教の歴史と思想	相澤 一	△
関連科目		
インターンシップI (事前学習)	酒井 俊行 / 藤井 重隆	△
インターンシップII (実習)	藤井 重隆	△
インディペンデント・スタディア		△
インディペンデント・スタディアB		△
インディペンデント・スタディアC		△
政治経済学特論A (20世紀の法文化)	石川 裕一郎	△
政治経済学特論A (自然を体験するA)	秋吉 祐子	△
政治経済学特論A (自然を体験するB)	秋吉 祐子	△
政治経済学特論A (日本の裁判を考える)	石川 裕一郎	△
政治経済学特論A (地方財政の探究)	谷 達彦	△
政治経済学特論A (企業経営を考える)	金子 毅	△

科目名	担当教員	必修/選択
政治経済学特論A (経営学の可能性)	金子 毅	△
政治経済学特論A (共同体を考える)	高橋 愛子	△
政治経済学特論A (ナショナリズムを考える)	森分 大輔	△
政治経済学特論A (平和を考える)	小松崎 利明	△
政治経済学特講 (国際政治論原典講読)	秋吉 祐子	△
政治経済学特講 (西洋政治思想講読A)	森分 大輔	△
政治経済学特講 (西洋政治思想講読B)	高橋 愛子	△
政治経済学特講 (比較政治学)	松尾 秀哉	△
政治経済学特講 (消費社会論)	横山 寿世理	△
自然地理学概説	秋山 秀一	△
人文地理学概説	飯島 康夫	△
西洋史概説A	山本 信太郎	△
西洋史概説B	山本 信太郎	△
地誌学概説A	秋山 秀一	△
地誌学概説B	秋山 秀一	△
哲学概説	大賀 祐樹	△
東洋史概説A	赤坂 恒明	△
東洋史概説B	赤坂 恒明	△
日本史概説A	東島 誠	△
日本史概説B	東島 誠	△
日本文化史	渡辺 正人	△
倫理学概説	谷口 隆一郎	△
秘書学概説	森 久子	△
演習科目		
予備演習	新井 尚子	◎
専門演習 (アイデンティティ)	横山 寿世理	○
専門演習(環境保全論)	村上 公久	○
専門演習 (キリスト教社会学倫理)	相澤 一	○
専門演習(金融市場論)	柴田 武男	○
専門演習(経営管理)	後藤 兼一	○
専門演習(国際政治論)	秋吉 祐子	○
専門演習(政治過程論)	森分 大輔	○
専門演習 (地域圏研究ロシア)	飯島 康夫	○
専門演習 (日本政治思想史)	吉田 博司	○
専門演習(比較憲法)	石川 裕一郎	○
専門演習(比較政治学)	松尾 秀哉	○
専門演習(法思想史)	加藤 恵司	○
専門演習(理論社会学)	土方 透	○
卒業研究(アイデンティティ)	横山 寿世理	○
卒業研究(環境保全論)	村上 公久	○
卒業研究 (キリスト教社会学倫理)	相澤 一	○
卒業研究(金融市場論)	柴田 武男	○
卒業研究(経営管理)	後藤 兼一	○
卒業研究(国際政治論)	秋吉 祐子	○
卒業研究(政治過程論)	高橋 愛子	○
卒業研究(政治経済学)	田中 佳	○
卒業研究(地域圏研究ロシア)	飯島 康夫	○
卒業研究 (日本政治思想史)	吉田 博司	○
卒業研究(比較憲法)	松村 芳明	○
卒業研究(比較政治学)	松尾 秀哉	○
卒業研究(法思想史)	加藤 恵司	○
卒業研究(理論社会学)	土方 透	○

履修について

基礎科目

教養・総合科目

政治経済学

政策学

欧米文化学

日本文化学

児童学

人間福祉学

資格関連科目

学部のほか

大学院

※科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

コミュニティ政策学科

基本情報

■開設年度 2000年
 ■学生数 1年次 107名
 2年次 117名
 3年次 94名
 4年次 135名
 (男372名/女81名)
 2011年5月1日現在

学科目標

公務員を目指す人を育てます。

学科独自の「公務員試験対策プログラム」をベースに、一般行政職(市役所他)・警察官・消防官などの公務員試験の合格をサポートします。

実行力のある企業人を育てます。

情報コミュニケーション技術 (ICT) を身につけた、実践力のある企業人を育てます。

地域社会で活躍する人を育てます。

NPO・NGO活動などの多様な現場の体験を通じて、地域社会の活性化に貢献できる人材を育成します。

学科概要

人と人のつながりである「コミュニティ」を行政、経営、コミュニケーションの3つの視点から幅広く学びます。これからの「地域社会の活性化」に必要とされる、問題提起・企画立案・情報発信の能力を養い、地域の人々とともに考え、行動できる人材の育成をします。

学びの支援体制

公務員試験対策プログラム

「一般行政職」、「警察官」、「消防官」を志望する学生のニーズに応え、公務員試験対策に特化した内容の講義と問題演習を実施するプログラムです。

地域を元気にするボランティア活動

2004年10月中越地震の被災地の一つ、新潟県小千谷市の塩谷地区に、雪かき合宿に行っています。具体的な作業を教えてもらいながらの作業を通じて、地域社会の活性化に貢献できる人材を育成します。

将来の活躍分野

公務員になる/NPOで働く/ 教育・福祉で活躍する

行政に関する知識に加え、社会福祉主事任用資格などを取得すれば、行政やNPO、福祉などの分野から地域社会の発展に貢献することができます。

企業で活躍する/起業・会社を経営する/ 家業を大きくする

経済・経営の知識を理論的・実践的に学ぶことで、会社経営、起業、家業を継ぐなど、経営者としての活躍が期待できます。

情報関連分野で活躍する/IT起業家を目指す/ ITを経営に活かす

パソコンの知識や技術および情報倫理を習得し、情報システムや情報通信ネットワーク、マルチメディアなども学ぶので、情報関連分野への活躍の場が広がります。

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許 (地理・歴史、公民)
- 中学校教諭一種免許(社会)
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会 (J-SHINE) 認定資格
- 日本語教師資格
※法的資格ではないが「日本語教員養成課程」で必要科目を修得することで修了証明書が取得可。
- 図書館司書資格
- 学校図書館司書教諭資格
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格

専任教員一覧

 教授 大森 達也 比較経済、日本経済	 教授 鈴木 真実哉 金融論、経済学史	 教授 谷口 隆一郎 哲学、倫理学、政治哲学	 准教授 川添 美央子 政治学、政治思想史	 准教授 清澤 達夫 経営論、サービス・マネジメント論	 准教授 瀨名 浩一 地域経済論、コミュニティ・ビジネス論	 准教授 竹井 深 情報倫理、情報教育、経営情報
 准教授 渡辺 英人 法学、法情報学、行政史研究	 助教 河島 茂生 情報学、メディア研究、図書館情報学	 助教 国分 道雄 情報処理、情報教育、物理学	 客員教授 大塚 健司 地域福祉、社会福祉	 特任講師 内藤 みち 日本語言語学、対照言語学、日本語教育、一般言語学	 学科 GP 特任講師 酒井 俊行 インターンシップ論、中小企業金融論、起業論、経営論	 学科 GP 特任講師 藤井 重隆 就業力育成、ビジネス一般

主な開設科目【専門科目】

科目名	担当教員	必修/選択
共通専門科目		
キリスト教社会倫理A	佐野 正子	◎
キリスト教社会倫理B	佐野 正子	◎
法学	伊藤 泰/渡辺 英人	◎
政治学	川添 美央子/ 張 殷珠/ 谷口 隆一郎	◎
経済学	石部 公男/ 大森 達也/ 鈴木 真実哉/ 由川 稔	◎
キャリアデザインA	上田 信一郎	◎
キャリアデザインB	上田 信一郎	◎
行政学	佐々木 一如	△
まちづくり学	平 修久	△
経営学	清澤 達夫/ 酒井 祐太郎	△
簿記	澤村 孝夫/ 山田 ひとみ	△
NPO・NGO論(非営利組織)	大高 研道	△
地域経済論	瀬名 浩一	△
コミュニケーション学	小笠原 尚宏	△
社会学	阿部 英之助/ 田中 俊之/ 横山 寿世理/ 渡會 知子	△
環境学	村上 公久	△
地域社会論	大高 研道	△
行政系統		
憲法(統治)	松村 芳明	△
行政法	仲田 孝仁	△
地方自治法	鹿谷 雄一	△
現代政治理論	森 達也	△
公共哲学	谷口 隆一郎	△
公共政策論	大藪 俊志	△
地方自治論	鹿谷 雄一	△
財政学	古市 将人	△
地方財政	田中 総一郎	△
環境政策論	平 修久	△
社会保障論	宮寺 良光	△
リスク対策論	標 宣男	△
近代政治思想	川添 美央子	△
地域福祉	大塚 健司	△
社会福祉行政論	榑 伴夫	△
社会的扶助論	宮寺 良光	△
児童福祉論	櫻井 邦夫	△
埼玉地域政策研究	大塚 健司	△
Japanese view of Nature & Landscape Architecture	村上 公久	△
日本政治史	吉田 博司	△
経営系統		
ミクロ経済学	中野 宏	△
マクロ経済学	石部 公男	△
比較経済体制論	大森 達也	△
産業経営論A	西川 太郎	△
産業経営論B	西川 太郎	△
管理学	清澤 達夫	△
会計学	成川 正晃	△
中小企業論A	砂川 和彦	△
中小企業論B	砂川 和彦	△
民法A(総則・物権)	松谷 秀祐	△
民法B(債権)	松谷 秀祐	△
民法C(親族・相続)	加藤 恵司	△
商法B(会社法)	佐藤 文彦	△
税法概論	山田 直夫	△
経済学史	鈴木 真実哉	△
金融論	鈴木 真実哉	△
コミュニティ・ビジネス論	瀬名 浩一	△
コミュニティ・ビジネスの現場	瀬名 浩一	△
国際ビジネスの現場A	柴田 武男	△
国際ビジネスの現場B	柴田 武男	△
秘書学概論	森 久子	△
ビジネス実務	森 久子	△
日本の経営論	清澤 達夫	△
商業経営論	市原 実	△
ファイナンス	小林 一之	△
経営管理	後藤 兼一	△
コミュニケーション系統		
法政情報論	渡辺 英人	△
情報倫理	竹井 潔	△
情報処理	国分 道雄	△

科目名	担当教員	必修/選択
情報システム論	国分 道雄	△
コンピュータ応用実習A	鈴木 省吾	△
コンピュータ応用実習B	二神 常爾	△
コンピュータ応用実習C	二神 常爾	△
情報検索演習	坂内 悟	△
情報通信ネットワーク	竹井 潔	△
情報リスク論	鈴木 省吾	△
マルチメディア論	河島 茂生	△
情報と職業	渡辺 英人	△
インターネット時代の情報資源活用	河島 茂生/ 若松 昭子	△
人間関係論	中嶋 励子	△
社会心理学	水島 友昭	△
マスメッセージ論A	小田川 興	△
マスメッセージ論B	小田川 興	△
理論社会学	土方 透	△
関連科目		
倫理学概論	谷口 隆一郎	△
社会調査論	新津 尚子	△
統計学	松原 望	△
インターンシップI(事前学習)	酒井 俊行/ 藤井 重隆	△
インターンシップII(実習)	藤井 重隆	△
インターンシップ(自主活動)	藤井 重隆	△
インディペンデント・スタディA	△	
インディペンデント・スタディB	△	
インディペンデント・スタディC	△	
コミュニティ政策特論A(商学)	工藤 幸一	△
公務員講座(数的・判断推理)	谷口 隆一郎	△
公務員講座(人文・社会)	谷口 隆一郎	△
公務員講座(文章理解)	大槻 岳	△
公務員講座演習B(数的・判断推理)	谷口 隆一郎	△
公務員講座演習B(人文・社会)	大藪 俊志	△
公務員特講(自治体研究A)	猪狩 廣美	△
公務員特講(自治体研究B)	北川 嘉昭	△
公務員演習I	佐々木 一如	△
公務員演習II	佐々木 一如	△
公務員講座(専門A)	△	
公務員講座(専門B)	谷口 隆一郎	△
生涯学習概論A	小池 茂子	△
生涯学習概論B	小池 茂子	△
社会教育計画A	小川 誠子	△
社会教育計画B	小川 誠子	△
社会教育課題研究A	小川 誠子	△
社会教育課題研究B	小川 誠子	△
現代社会と社会教育A	小池 茂子	△
現代社会と社会教育B	小池 茂子	△
社会教育施設論B	石川 昇	△
教職専門科目		
日本文化史	渡辺 正人	△
日本史概説A	東島 誠	△
日本史概説B	東島 誠	△
西洋史概説A	山本 信太郎	△
西洋史概説B	山本 信太郎	△
東洋史概説A	赤坂 恒明	△
東洋史概説B	赤坂 恒明	△
自然地理学概説	秋山 秀一	△
人文地理学概説	飯島 康夫	△
地誌学概説A	秋山 秀一	△
地誌学概説B	秋山 秀一	△
地誌学特講A	平 修久	△
地誌学特講B	大高 研道	△
西洋哲学史特講	△	
哲学概論	大貫 祐樹	△
地域圏研究(アメリカ)	小島 かおる	△
地域圏研究(ヨーロッパ)	倉西 雅子	△
地域圏研究(ロシア・東欧)	飯島 康夫	△
地域圏研究(アジアA)	秋吉 祐子	△
予備演習A	石部 公男/ 大高 研道/ 大塚 健司/ 大森 達也/ 川添 美央子/ 清澤 達夫/ 国分 道雄/ 鈴木 真実哉/ 瀬名 浩一/ 竹井 潔/ 谷口 隆一郎/ 渡辺 英人	◎

必修科目:◎ 必修選択科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
予備演習B	石部 公男/ 大高 研道/ 大塚 健司/ 大森 達也/ 川添 美央子/ 清澤 達夫/ 鈴木 真実哉/ 瀬名 浩一/ 平 修久/ 竹井 潔/ 谷口 隆一郎/ 渡辺 英人	◎
予備演習C	上嶋 康道	◎
時事問題演習	平 修久	◎
図表理解	平 修久	◎
専門演習I(法学)	渡辺 英人	○
専門演習II(法学)	渡辺 英人	○
専門演習I(リスク対策論)	標 宣男	○
専門演習II(リスク対策論)	標 宣男	○
専門演習I(まちづくり学)	平 修久	○
専門演習II(まちづくり学)	平 修久	○
専門演習I(コミュニティ・ビジネス論)	瀬名 浩一	○
専門演習II(コミュニティ・ビジネス論)	瀬名 浩一	○
専門演習I(公共哲学)	谷口 隆一郎	○
専門演習II(公共哲学)	谷口 隆一郎	○
専門演習I(キリスト教社会倫理)	佐野 正子	○
専門演習II(キリスト教社会倫理)	佐野 正子	○
専門演習I(政治学)	川添 美央子	○
専門演習II(政治学)	川添 美央子	○
専門演習I(管理学)	清澤 達夫	○
専門演習II(管理学)	清澤 達夫	○
専門演習I(金融論)	鈴木 真実哉	○
専門演習II(金融論)	鈴木 真実哉	○
専門演習I(経済学)	石部 公男	○
専門演習II(経済学)	石部 公男	○
専門演習I(情報倫理)	竹井 潔	○
専門演習II(情報倫理)	竹井 潔	○
専門演習I(地域社会論)	大高 研道	○
専門演習II(地域社会論)	大高 研道	○
専門演習I(地域福祉)	大塚 健司	○
専門演習II(地域福祉)	大塚 健司	○
専門演習I(日本経済論)	大森 達也	○
専門演習II(日本経済論)	大森 達也	○
専門演習I(コミュニティ政策)	大高 研道	○
卒業研究I(法学)	渡辺 英人	○
卒業研究II(法学)	渡辺 英人	○
卒業研究I(リスク対策論)	標 宣男	○
卒業研究II(リスク対策論)	標 宣男	○
卒業研究I(まちづくり学)	平 修久	○
卒業研究II(まちづくり学)	平 修久	○
卒業研究I(コミュニティ・ビジネス論)	瀬名 浩一	○
卒業研究II(コミュニティ・ビジネス論)	瀬名 浩一	○
卒業研究I(公共哲学)	谷口 隆一郎	○
卒業研究II(公共哲学)	谷口 隆一郎	○
卒業研究I(キリスト教社会倫理)	佐野 正子	○
卒業研究II(キリスト教社会倫理)	佐野 正子	○
卒業研究I(政治学)	川添 美央子	○
卒業研究II(政治学)	川添 美央子	○
卒業研究I(管理学)	清澤 達夫	○
卒業研究II(管理学)	清澤 達夫	○
卒業研究I(金融論)	鈴木 真実哉	○
卒業研究II(金融論)	鈴木 真実哉	○
卒業研究I(経済学)	石部 公男	○
卒業研究II(経済学)	石部 公男	○
卒業研究I(情報倫理)	竹井 潔	○
卒業研究II(情報倫理)	竹井 潔	○
卒業研究I(地域福祉)	大塚 健司	○
卒業研究II(地域福祉)	大塚 健司	○
卒業研究I(日本経済論)	大森 達也	○
卒業研究II(日本経済論)	大森 達也	○
卒業研究I(コミュニティ政策)	大高 研道	○
卒業論文		

※科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

欧米文化学科

基本情報

- 開設年度 1992年
- 学生数 1年次 100名
2年次 99名
3年次 99名
4年次 114名
(男212名/女200名)
2011年5月1日現在

学科目標

世界を舞台に活躍する国際人を育てます。

世界に様々なかたちでかかわって活躍できるような、行動力のある国際人を育てます。そして、自己を外へと表現し、責任ある主体としての職業人の育成をめざして、コミュニケーション力を育成します。キリスト教的精神を基盤にしつつ、欧米、さらには世界の異文化の知識や考え方を身につけることで、〈私〉に対する眼差しを広げるとともに、〈私とは異なる者〉に対する理解力を豊かにします。

海外で通用する職業人を育てます。

2008年度よりスタートした海外企業インターンシップ・プログラムでは、企業での職業体験や公立小学校でのアシスタント・ティーチャーズの体験を通して、語学研修とは一味違う異文化体験の機会を提供します。

学科概要

欧米文化の共通の基礎になっているキリスト教文化を背景に、歴史、思想、言語を柱に深く広く学びます。国際社会のなかで求められる教養や語学力を身につけ、グローバルな視野と考察力、行動力を併せ持つ人材を育成します。

学びの支援体制

英語強化プログラム

少数精鋭の「特訓コース」を開設。4年間の在籍で、長期留学や提携校の卒業資格取得も目指せます。能力別少人数クラスでの徹底した個別指導が特色。

児童英語教育

小学校英語指導者資格(J-SHINE認定)が取得できます。効果的な指導法はもちろん、英語活動のカリキュラム作成まで学びます。

将来の活躍分野

外資系企業で働く/商社で働く/海外で働く

ネイティブの先生による授業や留学の機会を活用して、語学力を高め、海外の企業でインターンシップを体験すれば、海外や外資系企業での活躍も期待できます。

教員になる/児童英語指導者になる/大学院に進学する

中学・高校の英語教師、小学校英語指導者などのほか、もっと学びを深めたい人には大学院進学という選択肢もあります。

一般企業で働く/旅行代理店で働く/出版社で働く

世界を見渡す視野と教養を身につければ、企業での活躍が期待でき、欧米の文化や歴史・地理等の知識は旅行業界で、翻訳や編集に関する知識は出版業界で活かすことができます。

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許(英語)
- 中学校教諭一種免許(英語)
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定資格
- 日本語教師資格
※法的資格ではないが「日本語教員養成課程」で必要科目を修得することで修了証明書が取得可。
- 図書館司書資格
- 学校図書館司書教諭資格
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格

専任教員一覧



大学・学部チャレン 教授
菊地 順
キリスト教組織神学



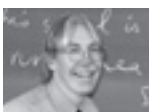
学部長 教授
稲田 敦子
比較文化・
日英比較社会思想



学科長 国際部長
国際センター副所長 教授
D. パーガー
社会言語学、語用論



国際センター所長 教授
E. D. オスバーン
インターカルチャー・コミュニ
ケーション、宗教と文化、
リーダーシップ・スタディ



教授
K. O. アンダスン
英米文学(現代詩)及び
英米文化



教授
氏家 理恵
英米文学、映像文化、英米
文化(19世紀末～)



教授
加曾利 実
一般言語学(比較音声学、
比較統語論)、心理言語学、
言語教授法



教授
鹿瀬 颯枝
フランス文学、フランス演劇



教授
M. サベット
英語教育、海外留学におけ
る多文化スタディ



教授
柴田 史子
アメリカ研究(文化、社会、
宗教)、宗教学



教授
原 一子
哲学・倫理学、ヨーロッパ
文化概論



教授
和田 光司
フランス近世史、
宗教改革史



准教授
佐藤 啓介
哲学、倫理学(現代フラン
ス・イタリア思想)、現代
ヨーロッパ文化論



准教授
長崎 睦子
応用言語学



准教授
東 仁美
小学校英語教育

主な開設科目【専門科目】

科目名	担当教員	必修/選択
基礎学		
キリスト教文化論A	菊地 順	◎
キリスト教文化論B	菊地 順	◎
基礎ゼミA		
	氏家 理恵/ 鹿瀬 颯枝/ 佐藤 啓介/ 長崎 睦子/ D. バーガー/ 和田 光司	◎
基礎ゼミB		
	稲田 敦子/ 加曾利 実/ 菊地 順/ 柴田 史子/ 原 一子/ 東 仁美	◎
欧米文化入門	D. バーガー	△
欧米文化基礎知識 (留学生用)	丸山 具子	△
ヨーロッパ文化概論	原 一子	○
アメリカ文化概論	柴田 史子	○
哲学・思想		
哲学	石田 安実/ 小林 剛/ 佐藤 啓介/ 高橋 章仁	◎
倫理学	原 一子	△
西洋思想史	原 一子	△
キリスト教史	片柳 榮一	△
キリスト教と近代世界	菊地 順	△
キリスト教文化交流	小林 剛	△
比較文化	稲田 敦子	△
Intercultural Communication A between Japan & the U.S.A. A	E.D.オズバーン	△
Intercultural Communication B between Japan & the U.S.A. B	E.D.オズバーン	△
国際ボランティア入門A	金沢 はるえ	△
国際ボランティア入門B	金沢 はるえ	△
歴史		
西洋史	小田原 琳/ 田中 史高/ 森 齊文/ 山本 信太郎	◎
ヨーロッパ史(中・近世)	和田 光司	△
ヨーロッパ史(近・現代)	和田 光司	△
ヨーロッパ生活文化史	和田 光司	△
現代ヨーロッパ事情	佐藤 啓介	△
アメリカ史	柴田 史子	△
現代イタリアの社会と文化A	小田原 琳	△
現代イタリアの社会と文化B	小田原 琳	△
文学		
欧米文学	本田 貴久	◎
欧米文学	三宅 美千代	◎
英米文学概論	富田 光明	△
ヨーロッパ文学史	富田 光明	△
英米文学	氏家 理恵	△
英米児童文学	松本 祐子	△
ファンタジー論	松本 祐子	△
文化・芸術		
宗教学	柴田 史子	△
西洋美術史	瀧井 直子	△
西洋音楽A	稲垣 俊也	△
西洋音楽B	稲垣 俊也	△
ヨーロッパ演劇	鹿瀬 颯枝	△
異文化理解	稲田 敦子	△
マスコミュニケーション論A	小田川 興	△
マスコミュニケーション論B	小田川 興	△
ドイツ文化	満留 伸一郎	△
イギリス文化	氏家 理恵	△
アメリカ文化	増田 直子	△
イスラム文化A	赤坂 恒明	△
イスラム文化B	赤坂 恒明	△
Pop Culture	K.O.アングス	△
視覚文化	佐藤 啓介	△

科目名	担当教員	必修/選択
翻訳文化論	氏家 理恵	△
欧米児童文化	上原 里佳	△
チャイルド マインディング概論	西内 久美子	△
観光地理	秋山 秀一	△
言語		
現代英文法	東 仁美	△
英語音声学	加曾利 実	△
英語学概論	加曾利 実	△
言語学概論	D. バーガー	△
Speech & Debate A	M. サベット	△
Speech & Debate B	M. サベット	△
Language in Society	D. バーガー	△
心理言語学	川手 恩	△
言語習得理論	長崎 睦子	△
教えるための英文法A	印田 佐知子	○
教えるための英文法B	印田 佐知子	○
児童英語教育(理論)	横田 玲子	△
児童英語教育 (カリキュラム・デザイン)	東 仁美	△
児童英語教育(教材研究)	A. クラウス	△
児童英語教育(ワークショップA)	A. クラウス	△
児童英語教育(ワークショップB)	阿部フォード恵子	△
児童英語教育 (インターンシップI)	東 仁美	△
児童英語教育 (インターンシップII)	東 仁美	△
外国語科目		
映画を通して学ぶ文化と英語	中村 香代子	△
音楽を通して学ぶ文化と英語	K.O.アングス	△
英語スピーチ発音法	加曾利 実	○
試験対策英語(英検準2級)	印田 佐知子	△
試験対策英語(英検2級)	印田 佐知子	△
Living & Studying Abroad	M. サベット	○
Academic Listening & Speaking	E.D.オズバーン	○
College Reading Skills	メイス みよ子	○
College Writing Skills	K.O.アングス	○
TOEFL C	中村 香代子	△
TOEFL D	中村 香代子	△
TOEIC C	中村 香代子	△
TOEIC D	中村 香代子	△
フランス語(総合)	石田 明夫	△
フランス語(総合)	小室 廉太	△
フランス語(総合)	本田 貴久	△
フランス語 コミュニケーションB(総合)	H.ドリエツ	○
フランス語研究A	鹿瀬 颯枝	△
フランス語研究B	鹿瀬 颯枝	△
ドイツ語(総合)	小谷 哲夫	△
ドイツ語(総合)	清水 威能子	△
ドイツ語 コミュニケーション	B.ミュラー	○
関連科目		
出版・編集論	山本 俊明	△
異文化間 コミュニケーション(経営)	T. アサモア	△
レポート作成法A	D. バーガー	△
Special Lecture Series A	E.D.オズバーン	△
インディペンデント・スタディA		△
インディペンデント・スタディB		△
インディペンデント・スタディC		△
インディペンデント・スタディD		△
海外研修A		△
海外研修B		△
海外研修C		△
海外研修D		△
大学院共通科目		
欧米文化学特論	有賀 貞	△
英語講読A	高橋 義文	△
英語講読B	有賀 貞	△
ドイツ語講読A	原 一子	△
ドイツ語講読B	深井 智朗	△
フランス語講読A	和田 光司	△

必修科目:◎ 必修選択科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
フランス語講読B	鹿瀬 颯枝	△
ラテン語A	片柳 榮一	△
ラテン語B	片柳 榮一	△
演習科目		
専門演習(キリスト教文化)I	菊地 順	○
専門演習(キリスト教文化)II	菊地 順	○
専門演習 (現代ヨーロッパ事情)I	佐藤 啓介	○
専門演習 (現代ヨーロッパ事情)II	佐藤 啓介	○
専門演習(ヨーロッパ史)I	和田 光司	○
専門演習(ヨーロッパ史)II	和田 光司	○
専門演習(ヨーロッパ思想)I	原 一子	○
専門演習(ヨーロッパ思想)II	原 一子	○
専門演習(フランス文学)I	鹿瀬 颯枝	○
専門演習(フランス文学)II	鹿瀬 颯枝	○
専門演習(英米文学)I	氏家 理恵	○
専門演習(英米文学)II	氏家 理恵	○
専門演習(Pop Culture)I	K.O.アングス	○
専門演習(Pop Culture)II	K.O.アングス	○
専門演習(アメリカ文化)I	柴田 史子	○
専門演習(アメリカ文化)II	柴田 史子	○
専門演習(比較文化)I	稲田 敦子	○
専門演習(比較文化)II	稲田 敦子	○
専門演習(言語と社会)I	D. バーガー	○
専門演習(言語と社会)II	D. バーガー	○
専門演習(言語学)I	加曾利 実	○
専門演習(言語学)II	加曾利 実	○
専門演習 (外国語教授法)I	長崎 睦子	○
専門演習 (外国語教授法)II	長崎 睦子	○
専門演習 (児童英語教育)I	東 仁美	○
専門演習 (児童英語教育)II	東 仁美	○
卒業研究 (キリスト教文化)I	菊地 順	○
卒業研究 (キリスト教文化)II	菊地 順	○
卒業研究 (現代ヨーロッパ事情)I	佐藤 啓介	○
卒業研究 (現代ヨーロッパ事情)II	佐藤 啓介	○
卒業研究 (ヨーロッパ史)I	和田 光司	○
卒業研究 (ヨーロッパ史)II	和田 光司	○
卒業研究 (ヨーロッパ思想)I	原 一子	○
卒業研究 (ヨーロッパ思想)II	原 一子	○
卒業研究 (フランス文学)I	鹿瀬 颯枝	○
卒業研究 (フランス文学)II	鹿瀬 颯枝	○
卒業研究(英米文学)I	氏家 理恵	○
卒業研究(英米文学)II	氏家 理恵	○
卒業研究(Pop Culture)I	K.O.アングス	○
卒業研究(Pop Culture)II	K.O.アングス	○
卒業研究(アメリカ文化)	柴田 史子	○
卒業研究(比較文化)I	稲田 敦子	○
卒業研究(比較文化)II	稲田 敦子	○
卒業研究(言語と社会)I	D. バーガー	○
卒業研究(言語と社会)II	D. バーガー	○
卒業研究(英語学)I	加曾利 実	○
卒業研究(英語学)II	加曾利 実	○
卒業研究 (外国語教授法)I	長崎 睦子	○
卒業研究 (外国語教授法)II	長崎 睦子	○
卒業研究 (児童英語教育)I	東 仁美	○
卒業研究 (児童英語教育)II	東 仁美	○

※科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

日本文化学科

基本情報

- 開設年度 1998年
- 学生数 1年次 101名
2年次 113名
3年次 123名
4年次 141名
(男278名/女200名)
2011年5月1日現在

学科目標

自分に秘められた才能と出会える多彩なカリキュラムを設置し、少人数の教育によって、その能力の開発に努めます。

日本語表現のエキスパートとして、社会で活躍できる人材を育成します。

教員志望、司書教諭志望者には、十分な支援体制を整え、現役での教員採用試験合格を目指します。

日本文化学科として学会誌を毎年発行しており、優れた卒業論文を活字化するなど、大学院進学に向けた、より専門的な指導も行います。

学科概要

日本文化をグローバルな視点から再度とらえなおすことを目的に、言語、文学、文化、歴史・思想、比較文化の5つを柱に多面的に学びます。伝統文化だけでなく、ポップカルチャーなどの現代若者文化も探求します。

学びの支援体制

グローバルな視点で日本文化を体験する

21世紀の課題の一つは、多様な他者との共存です。グローバルな視点を鍛えつつ、日本文化を実際に「体験」するプログラムを用意しています。

教員養成

授業や、対策講座等で充実した採用試験対策を行い、中学・高校国語科教諭採用に向けてサポートをしています。また、日本語教師養成にも力を入れています。

将来の活躍分野

一般企業で働く/公務員になる

グローバルな視点で日本を捉える能力と、しっかりとした日本語力を持つことで、一般企業社員・公務員としての活躍が期待されます。

国語科教員になる/日本語教師になる/国際・文化交流機関で働く

国語科の中学・高校教員、国内外で求められている日本語教師など、日本語や日本文化の魅力を教え伝える、多様な場で活躍できます。

図書館で働く/出版社で働く/IT・メディア業界で働く

大学で日本の文化・文学・言語を多角的・専門的に学んだ経験を活かせる場として、公立・私立の図書館やメディア業界があります。

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許(国語)
- 中学校教諭一種免許(国語)
- 図書館司書資格
- 学校図書館司書教諭資格
- 日本語教師資格
※法的資格ではないが「日本語教員養成課程」で必要科目を修得すると修了証明書が取得可。
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格

専任教員一覧



学部副チャレン 准教授
柳田 洋夫
日本倫理思想史、キリスト教倫理、日本プロテスタント思想史



学科長 教授
清水 正之
倫理学、日本倫理思想史、生命倫理



学生部長 教授
清水 均
日本近現代文学、日本近現代文化



広報部長 教授
渡邊 正人
古代文学、考古学



広報部副部長 准教授
熊谷 芳郎
国語科教諭



総合図書館長 教授
黒木 章
日本近代文学



教授
川崎 司
日本プロテスタント史



教授
川口 さち子
日本語教育(教授法、教師養成、文法指導)、対照研究(日仏・日中・日韓)



教授
黒島 誠
歴史学、政治思想史



准教授
小林 茂之
歴史言語学、理論言語学、言語とこころの哲学



准教授
濱田 寛
平安朝日本漢文学、和漢比較文学



准教授
村松 晋
近代日本思想史、精神史



助教
菊池 有希
比較文学、比較文化



助教
黒崎 佐仁子
日本語教育、多文化共生

主な開設科目【専門科目】

科目名	担当教員	必修/選択
専門基礎科目		
キリスト教文化論A	柳田 洋夫	◎
キリスト教文化論B	柳田 洋夫	◎
ライフデザイン・ 良く生きるA	清水 均/ 渡辺 正人	◎
ライフデザイン・ 良く生きるB	柳田 洋夫/ 渡辺 正人	◎
日本語表現法①	菊池 有希/ 北村 淳子/ 坂巻 理恵子/ 副田 恵/ 松村 良	◎
日本語表現法②	坂巻 理恵子/ 副田 恵/ 中島 佐和子/ 松村 良	◎
日本語学概説	小林 茂之/ 黒木 章	○
日本史概説A	東島 誠	○
日本史概説B	東島 誠	○
日本語教育概論	北村 淳子	○
古典読解A	網本 尚子	○
古典読解B	網本 尚子	○
日本思想入門	村松 晋	○
日本文化入門	寺田 詩麻	○
日本文化史	渡辺 正人	○
日本思想概説	清水 正之	○
関連文化	村松 晋	○
比較文化概論	菊池 有希	○
教えるための現代文A	前田 潤	△
教えるための現代文B	前田 潤	△
教えるための古典Ⅰ	有馬 義貴/ 濱田 寛	△
教えるための古典Ⅱ	有馬 義貴/ 濱田 寛	△
教えるための古典Ⅲ	有馬 義貴/ 濱田 寛	△
教えるための古典Ⅳ	有馬 義貴/ 濱田 寛	△
言語系統		
言語学概論	D. バーガー	△
対照言語学	黒崎 佐仁子	△
言語文化論	小林 茂之	△
心理言語学	川手 恩	△
古典日本語Ⅰ	上宇都ゆりほ	△
古典日本語Ⅱ	高桑 佳與子	△
日本語表現法(ティベートⅠ)	瀬能 和彦	△
日本語表現法(ティベートⅡ)	瀬能 和彦	△
日本語学(文法)A	黒崎 佐仁子	△
日本語学(文法)B	黒崎 佐仁子	△
日本語学(音声・音韻)A	中川 千恵子	△
日本語学(音声・音韻)B	中川 千恵子	△
言語生活	内藤 みち	△
日本事情(社会)	木原 郁子	△
日本事情(文化)	内藤 みち	△
日本語教授法講義	川口 さち子	△
日本語教授法演習	木原 郁子	△
日本語教育実習	川口 さち子	△
日本語学特殊講義	田川 拓海	○
言語学特殊講義	小林 茂之	○
比較文化系統		
比較宗教学	芦名 裕子	△
文化人類学	高橋 絵里香	△
翻訳文化論	氏家 理恵	△
Language in Society	D. バーガー	△
中国文学	濱田 寛	△
中国思想	大坊 真伸	△
文化交流史(アジアと日本)B	小田川 興	△
文化交流史(欧米と日本)	黒木 章	△
海外文化交流研修(アジア)A	黒崎 佐仁子	△
海外文化交流研修(アジア)A	溝口 カブスン	△

科目名	担当教員	必修/選択
海外文化交流研修(アジア)A	渡辺 正人	△
比較文化特殊講義①	濱田 寛	○
比較文化特殊講義②	菊池 有希	○
韓国文化演習	清水 正之	△
文化とグローバル化	菊池 有希	△
韓国語コミュニケーションA	溝口 カブスン	△
韓国語コミュニケーションB	北原 スマズ	△
中国語コミュニケーションA	閻 子謙	△
中国語コミュニケーションB	福田 素子	△
Intercultural Communication A between Japan & the U.S.A. A	E.D.オズバーン	△
Intercultural Communication B between Japan & the U.S.A. B	E.D.オズバーン	△
Special Lecture Series A	E.D.オズバーン	△
文学系統		
日本文学史(上代・中古)	松本 麻子	△
日本文学史(中世・近世)	家永 香織	△
日本文学史(近現代)	前田 潤	△
日本文学研究と批評(古典①)	高桑 佳與子	△
日本文学研究と批評(古典②)	松本 麻子	△
日本文学研究と批評(古典③)	上宇都ゆりほ	△
日本文学研究と批評(近現代①)	佐藤 ゆかり	△
日本文学研究と批評(近現代②)	前田 潤	△
日本文学研究と批評(近現代③)	熊谷 芳郎	△
日本文学の中のキリスト教A	佐藤 ゆかり	△
日本文学の中のキリスト教B	佐藤 ゆかり	△
児童文学	藤田 のぼる	△
日本文学特殊講義①	家永 香織	○
日本文学特殊講義②	前田 潤	○
歴史・思想系統		
日本史の研究(古代史特論)	稲田 奈津子	△
日本史の研究(中世史特論)	東島 誠	△
日本史の研究(近世史特論)	上安 祥子	△
日本史の研究(近代史特論)	川崎 司	△
日本史の研究(現代史特論)	川崎 司	△
日本史の研究(キリスト教史特論)	川崎 司	△
日本の思想(儒教)	上安 祥子	△
日本の思想(仏教)	高山 秀嗣	△
日本の思想(キリスト教)	村松 晋	△
女性学	藤田 和美	△
歴史と文化	東島 誠	△
歴史と社会	川崎 司	△
日本史特殊講義	東島 誠	○
日本思想特殊講義	村松 晋	○
文化系統		
日本の演劇(中世・近世)	寺田 詩麻	△
日本の美術	佐伯 英里子	△
日本の音楽A	鈴木 英一	△
日本の音楽B	鈴木 英一	△
日本の民俗	及川 高	△
日本の ポップ・カルチャー	清水 均	△
こどもと文化	寺崎 恵子	△
映像と文化A	山中 剛史	△
映像と文化B	山中 剛史	△
書道(初級)	小室 陽子	△
書道(中級)	小室 陽子	△
日本文化特殊講義	清水 均	○
応用科目		
伝統芸能A	茂山 千三郎	△
文芸(創作)	藤田 のぼる	△
放送文化	川野 一宇	△
身体表現	森 さゆり	△
日本文化特論	上野 麻美	△
インディペンデント・スタディA		△
インディペンデント・スタディB		△
インディペンデント・スタディC		△
修了科目		
日本文化総論A	清水 正之	△
日本文化総論B	清水 正之	△
卒業論文		△

必修科目:◎ 必修選択科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
演習科目		
専門演習Ⅰ(言語①)	小林 茂之	○
専門演習Ⅰ(言語②)	川口 さち子	○
専門演習Ⅰ(言語③)	黒崎 佐仁子	○
専門演習Ⅰ(比較文化①)	渡辺 正人	○
専門演習Ⅰ(比較文化②)	菊池 有希	○
専門演習Ⅰ(比較文化③)	濱田 寛	○
専門演習Ⅰ(文学②)	渡辺 正人	○
専門演習Ⅰ (歴史・思想①)	東島 誠	○
専門演習Ⅰ (歴史・思想②)	川崎 司	○
専門演習Ⅰ (歴史・思想③)	清水 正之	○
専門演習Ⅰ (歴史・思想④)	村松 晋	○
専門演習Ⅰ (歴史・思想⑤)	柳田 洋夫	○
専門演習Ⅱ(文化③)	清水 均	○
専門演習Ⅱ(言語①)	小林 茂之	○
専門演習Ⅱ(言語②)	川口 さち子	○
専門演習Ⅱ(比較文化①)	渡辺 正人	○
専門演習Ⅱ(比較文化②)	濱田 寛	○
専門演習Ⅱ(古典文学②)	渡辺 正人	○
専門演習Ⅱ (近現代文学①)	黒木 章	○
専門演習Ⅱ(歴史①)	東島 誠	○
専門演習Ⅱ(歴史②)	川崎 司	○
専門演習Ⅱ(思想①)	清水 正之	○
専門演習Ⅱ(思想②)	村松 晋	○
専門演習Ⅱ(思想③)	柳田 洋夫	○
専門演習Ⅱ(近現代文化①)	清水 均	○
専門演習Ⅱ(近現代文化②)	熊谷 芳郎	○
卒業研究(言語①)Ⅰ	小林 茂之	○
卒業研究(言語①)Ⅱ	小林 茂之	○
卒業研究(言語②)Ⅰ	川口 さち子	○
卒業研究(言語②)Ⅱ	川口 さち子	○
卒業研究 (比較文化(1))Ⅰ	渡辺 正人	○
卒業研究 (比較文化(1))Ⅱ	渡辺 正人	○
卒業研究 (比較文化(2))Ⅰ	濱田 寛	○
卒業研究 (比較文化(2))Ⅱ	濱田 寛	○
卒業研究 (古典文学②)Ⅰ	渡辺 正人	○
卒業研究 (古典文学②)Ⅱ	上野 麻美	○
卒業研究 (近現代文学①)Ⅱ	黒木 章	○
卒業研究(歴史①)Ⅰ	東島 誠	○
卒業研究(歴史①)Ⅱ	東島 誠	○
卒業研究(歴史②)Ⅰ	川崎 司	○
卒業研究(歴史②)Ⅱ	川崎 司	○
卒業研究(思想①)Ⅰ	清水 正之	○
卒業研究(思想①)Ⅱ	清水 正之	○
卒業研究(思想②)Ⅰ	村松 晋	○
卒業研究(思想②)Ⅱ	村松 晋	○
卒業研究(思想③)Ⅰ	柳田 洋夫	○
卒業研究(思想③)Ⅱ	柳田 洋夫	○
卒業研究 (近現代文化①)Ⅰ	清水 均	○
卒業研究 (近現代文化①)Ⅱ	清水 均	○
卒業研究 (近現代文化②)Ⅰ	熊谷 芳郎	○
卒業研究 (日本文化)Ⅱ	川崎 司	○
教職演習A	濱田 寛	△
教職演習B	濱田 寛	△

※科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

Chapter-1
Chapter-2
Chapter-3
Chapter-4
Chapter-5

履修について

基礎科目

教養・総合科目

政治経済学科

「コミュニケーション」
政策学科

欧米文化学科

日本文化学科

児童学科

人間福祉学科

資格関連科目

学部のほか
大学院

児童学科

基本情報

■開設年度 1992年
 ■学生数 1年次 118名
 2年次 118名
 3年次 112名
 4年次 123名
 (男183名/女288名)
 2011年5月1日現在

学科目標

言葉にできない子どもの思いに寄り添いながら、よりよい人間社会を築いていける人を育てます。

保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状を取得し、実際に子どもとその家族のよきパートナーとなれる人を育てます。

児童学を通じて培った、人と関わる質の高い能力を用いて企業で活躍する人材を育てます。

学科概要

保育、心理、文化、福祉などさまざまな角度から児童学を学び、人間として育つことについて深く考えます。小学校・幼稚園教諭、保育士の資格を取得するとともに、子どもと大人の新しい関係を模索していける力を育てます。

具体的数値目標

保育士資格取得者・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100名
 幼稚園教諭一種免許状取得者・・・・・・・・・・ 100名
 小学校教諭一種免許状取得者・・・・・・・・・・ 50名
※幼稚園、保育所を含む児童福祉施設への就職志望者の就職率100%の実績があります。 ※2009年度以来、毎年10名を超える小学校教員採用試験合格者を出しています。

学びの支援体制

保育士、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状の3つの資格を取得

教員採用試験・公務員対策講座などを実施し、将来の就職につなげるサポートを行っています。幼稚園、保育所を含む児童施設への就職志願者の就職率100%の実績があります。また、2010年度は小学校教員採用試験において11名の現役合格者を出しました。

海外実習(SAINTS)

アメリカ・ジョージア州にある聖学院アトランタ国際学校(SAINTS)の幼稚部・小学部で約2週間行われる、4年次の志望者が参加できる実習プログラムです。

将来の活躍分野

小学校教諭になる/幼稚園教諭になる
 免許を取得し、採用試験に合格すれば、全国各地の小学校や幼稚園、認定こども園などで教員として活躍できます。

保育士になる/福祉施設で働く/公務員になる
 保育士資格を取得すれば、保育所や児童養護施設、知的障害児施設などの児童福祉施設や、認定こども園など、さまざまな保育・福祉の場で活躍できます。

一般企業で働く
 おもちゃや子ども服など、子どもに関わる業界や分野への就職が期待されます。

取得可能な資格

- 小学校教諭一種免許状
 - 幼稚園教諭一種免許状
 - 保育士資格
 - 学校図書館司書教諭資格
- 【場合によっては取得可能な資格】
- 小学校英語指導者資格*
 - ※小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定資格
 - 日本語教師資格
 - 図書館司書資格
 - 社会教育主任任用資格
 - 社会福祉主任任用資格
 - おもちゃインストラクター*
 - ※NPO法人日本グッド・トイ委員会認定資格

専任教員一覧

 学科長 教授 村山 順吉 ピアノ/演奏、音楽創造論、音楽教育学	 教務部長 教授 松本 祐子 19世紀イギリス小説、英米児童文学	 教授 石津 靖大 教育学(日本教育史)	 教授 小川 洋 教育社会学、教育行政学、カナダ教育	 教授 金谷 京子 臨床発達心理学、教育心理学、特別支援教育		
 教授 喜田 敬 ファインアート	 教授 田澤 薫 児童学、児童福祉	 教授 永井 理恵子 幼児教育学、幼稚園教育実践史、近代日本学校建築史	 教授 藤田 明 声楽、歌唱表現法、ヴォイストレーニング	 准教授 相川 徳孝 幼児教育、保育学	 准教授 石川 由美子 障害児心理学、福祉心理学、臨床発達心理学	 准教授 小池 茂子 生涯学習、社会教育
 准教授 松田 信昭 生活科教育、総合的な学習の時間、教育課程論	 准教授 山田 麻有美 発達心理学、児童臨床心理学、心理療法	 専任講師 佐藤 千瀬 異文化間教育、幼児教育	 助教 寺崎 恵子 教育学、教育文化	 専任講師 佐藤 逸子 算数教育	 専任講師 深澤 悠紀雄 社会科教育	

主な開設科目【専門科目】

科目名	担当教員	必修/選択
共通基礎科目		
キリスト教人間学A	佐野 正子	◎
キリスト教人間学B	佐野 正子	◎
児童学概論	田澤 薫	◎
教職基礎	加藤 実三	△
教職演習A	石津 靖大	△
教職演習B	石津 靖大	△
教職演習C	石津 靖大	△
教職演習D	石津 靖大	△
教職演習E	船田 信昭	△
教職演習F	船田 信昭	△
教職演習G	内田 武司/ 船田 信昭	△
海外実習(SAINTS)	村山 順吉	△
フィールドワーク	相川 徳孝/ 松本 祐子/ 村山 順吉	△
児童学海外研修	村山 順吉	△
児童文化系統		
児童文化論A	田澤 薫	◎
児童文化論B	寺崎 恵子	◎
絵本文化論	森下 みさ子	△
英米児童文学	松本 祐子	△
ファンタジー論	松本 祐子	△
おもちゃ論	森下 みさ子	△
英語コミュニケーション	M. サベット	△
児童英語教材研究	小川 隆夫/ 東 仁美	△
英語圏児童文学講読	松本 祐子	△
異文化間教育	佐藤 千瀬	△
心理学系統		
教育心理学	金谷 京子	◎
発達心理学(110C)	金谷 京子	△
児童臨床心理学	山田 麻有美	△
教育相談 (カウンセリングを含む)	山田 麻有美	△
セラピー特論	山田 麻有美	△
教育学系統		
教育原理	寺崎 恵子	◎
児童教育学	永井 理恵子	◎
キリスト教教育論A	森田 美千代	△
社会教育論A	小池 茂子	△
社会教育論B	小池 茂子	△
教育社会学	小川 洋	△
日本教育史	石津 靖大	△
現代社会と社会教育A	小池 茂子	△
現代社会と社会教育B	小池 茂子	△
キリスト教保育論	田中 かのる	△
福祉・教育関連系統		
社会福祉	大塚 健司	△
社会福祉援助技術演習	笹刈 悟	△
児童福祉	田澤 薫	△
保育原理	寺崎 恵子	△
保育原理B	寺崎 恵子	△
養護原理	坂本 佳代子	△
乳児保育	岸澤 藤子	△
養護内容	笹刈 悟	△
保育相談支援実践論	相川 徳孝	△
障害児保育	石川 由美子	△
小児保健I	小林 京子/ 平田 美佳	△
小児保健II	小林 京子/ 平田 美佳	△
小児保健実習	福田 里美	△
精神保健	上野 直子	△
家族援助論	佐藤 千瀬	△
小児栄養	大月 典子	△
地域福祉論	牛津 信忠	△
子どもカウンセリング論	石川 由美子	△
地域子育て支援論	海津 敦子	△
保育相談支援実践論	相川 徳孝	△
教育関連科目		
児童文学	小室 陽子/ 松本 祐子	△
社会	深澤 悠紀雄	△
算数	佐藤 逸子	△
理科	古川 鉄治	△

※科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

科目名	担当教員	必修/選択
生活	船田 信昭	△
家庭	櫻井 純子	△
音楽創造論	村山 順吉	△
音楽・器楽C	池上 真理子/ 笠井 かほる/ 阪 までか/ 渋谷 みどり/ 島崎 美知子/ 塚原 晴美/ 矢持 真希子	△
音楽・器楽D	池上 真理子/ 笠井 かほる/ 阪 までか/ 渋谷 みどり/ 島崎 美知子/ 塚原 晴美/ 矢持 真希子	△
音楽・声楽	藤田 明	△
音楽・合奏指導A	田中 美佳子	△
音楽・合奏指導B	田中 美佳子	△
音楽・合奏指導C	東海 千浪	△
音楽・合奏指導D	東海 千浪	△
音楽・合奏指導E	村山 良介	△
音楽・合奏指導F	村山 良介	△
音楽・合奏指導G	山田 裕治	△
音楽・合奏指導H	山田 裕治	△
音楽・ハンドベルA	本田 晃	△
音楽・ハンドベルB	本田 晃	△
図画工作	喜田 敬/ 山領 直人	△
図画工作A	喜田 敬	△
図画工作B	喜田 敬	△
体育	鈴木 明/ 高橋 進	△
保育技術演習	相川 徳孝	△
音楽A	村山 順吉	△
音楽B	藤田 明/ 星野 直子	△
教師論(小)	船田 信昭	△
総合演習	石津 靖大/ 小池 茂子	△
教師論(幼保)	佐藤 千瀬	△
保育内容総論	野尻 裕子	△
保育内容総論II	野尻 裕子	△
保育内容の研究・健康	鈴木 明	△
保育内容の研究・人間関係	横井 紘子	△
保育内容の研究・環境	永井 理恵子	△
保育内容の研究・言葉	石川 由美子	△
保育内容の研究・表現A	相川 徳孝	△
保育内容の研究・表現B	柴田 和豊	△
幼児指導法の研究	佐藤 千瀬	△
教育課程論	船田 信昭	△
初等国語科教育法	根本 正義	△
初等社会科教育法	深澤 悠紀雄	△
算数科教育法	小関 照純	△
理科教育法	古川 鉄治	△
生活科教育法	船田 信昭	△
音楽科教育法	村山 順吉	△
図画工作科教育法	柴田 和豊	△
家庭科教育法	櫻井 純子	△
体育科教育法	鈴木 直樹	△
道徳教育の研究	阿久戸 光晴	△
特別活動の理論と方法	阿久戸 多喜子	△
教育方法論	篠原文陽児	△
生徒指導論 (進路指導を含む)	船田 信昭	△
基礎実習	相川 徳孝	△
幼稚園教育実習	相川 徳孝	△
保育実習	金谷 京子/ 田澤 薫/ 松本 祐子	△
保育実習A	佐藤 千瀬	△
保育実習B	石川 由美子	△
小学校教育実習	深澤 悠紀雄/ 船田 信昭	△
介護等体験及び 事前事後指導	高山 法子/ 山口 圭	△

科目名	担当教員	必修/選択
学校経営と 学校図書館	斉藤 規	△
学校図書館メディアの 構成	若松 昭子	△
学習指導と学校図書館	米谷 茂則	△
読書と豊かな人間性	斉藤 規	△
情報メディアの活用	河島 茂生	△
専門演習(児童学I)	田澤 薫	○
専門演習(児童学II)	田澤 薫	○
専門演習(児童臨床心理学I)	山田 麻有美	○
専門演習(児童臨床心理学II)	山田 麻有美	○
専門演習(日本教育史II)	石津 靖大	○
専門演習(声楽I)	藤田 明	○
専門演習(声楽II)	藤田 明	○
専門演習(児童教育学II)	永井 理恵子	○
専門演習(造形教育論I)	喜田 敬	○
専門演習(造形教育論II)	喜田 敬	○
専門演習(音楽創造論I)	村山 順吉	○
専門演習(音楽創造論II)	村山 順吉	○
専門演習(保育実践論I)	相川 徳孝	○
専門演習(保育実践論II)	相川 徳孝	○
専門演習 (児童福祉実践論II)	金谷 京子	○
専門演習(障害児心理I)	石川 由美子	○
専門演習(障害児心理II)	石川 由美子	○
専門演習(児童教育学I)	永井 理恵子	○
専門演習(異文化間教育I)	佐藤 千瀬	○
専門演習(教育文化論I)	寺崎 恵子	○
専門演習(教育文化論II)	寺崎 恵子	○
専門演習(生涯学習I)	小池 茂子	○
専門演習(生涯学習II)	小池 茂子	○
専門演習(社会科I)	深澤 悠紀雄	○
専門演習(児童文学I)	松本 祐子	○
専門演習(児童文学II)	松本 祐子	○
専門演習(算数I)	佐藤 逸子	○
専門演習(算数II)	佐藤 逸子	○
卒業研究(児童学I)	田澤 薫	○
卒業研究(児童学II)	田澤 薫	○
卒業研究 (児童臨床心理学I)	山田 麻有美	○
卒業研究 (児童臨床心理学II)	山田 麻有美	○
卒業研究(日本教育史I)	石津 靖大	○
卒業研究(日本教育史II)	石津 靖大	○
卒業研究 (キリスト教幼児教育I)	阿部 洋治	○
卒業研究 (キリスト教幼児教育II)	阿部 洋治	○
卒業研究(声楽I)	藤田 明	○
卒業研究(声楽II)	藤田 明	○
卒業研究(児童教育学I)	永井 理恵子	○
卒業研究(児童教育学II)	永井 理恵子	○
卒業研究(造形教育論I)	喜田 敬	○
卒業研究(造形教育論II)	喜田 敬	○
卒業研究(音楽創造論I)	村山 順吉	○
卒業研究(音楽創造論II)	村山 順吉	○
卒業研究(保育実践論I)	相川 徳孝	○
卒業研究(保育実践論II)	相川 徳孝	○
卒業研究 (児童福祉実践論II)	金谷 京子	○
卒業研究 (障害児心理I)	石川 由美子	○
卒業研究 (障害児心理II)	石川 由美子	○
卒業研究(異文化間教育I)	佐藤 千瀬	○
卒業研究(異文化間教育II)	佐藤 千瀬	○
卒業研究(教育文化論I)	寺崎 恵子	○
卒業研究(教育文化論II)	寺崎 恵子	○
卒業研究(生涯学習I)	小池 茂子	○
卒業研究(児童文学I)	松本 祐子	○
卒業研究(児童文学II)	松本 祐子	○
卒業研究(社会科I)	深澤 悠紀雄	○
卒業研究(社会科II)	深澤 悠紀雄	○
卒業研究(算数I)	佐藤 逸子	○
卒業研究(算数II)	佐藤 逸子	○
卒業研究(理科II)	中村 磐男	○
卒業論文		△

履修について

基礎科目

教養・総合科目

政治経済学科

コミュニケーション
政策学科

欧米文化学科

日本文化学科

児童学科

人間福祉学科

資格関連科目

学部の1/4
その他の

大学院

人間福祉学科

基本情報

- 開設年度 1998年
- 学生数 1年次 109名
2年次 99名
3年次 107名
4年次 107名
(男235名/女187名)
2011年5月1日現在

学科目標

福祉のこころと高い専門知識をあわせもった人材を育成します。
福祉のこころを基盤として、福祉の街づくりに貢献する福祉行政職（公務員）やNPO活動等を展開する力のある地域福祉活動家、福祉的視野をもった第一線で活躍する企業人を育成します。

心理や環境を含めた広い視野と、深い人間理解を学び、
自分の関心を活かし多彩な職場で役立つ職業人を育成します。
認定心理士や福祉住環境コーディネーター等の資格取得をサポートし、保健・医療関係者とも連携をとるための知識をもった専門家を育成します。

これからの福祉社会で求められる、
「現場に強い」実践力のあるスペシャリストを育成します。
少人数教育による質の高い教育プログラムを提供し、また、社会福祉士、精神保健福祉士等国家試験受験に対し、学科独自の受験対策講座によって、現役合格をサポートします。卒業後もスーパービジョンの機会を保障し責任を持ってフォローアップを行います。

※スーパービジョン…社会福祉の実践現場において経験豊かな実践者が、若い実践者の悩み等に対し助言を与えるなどして専門職を養成すること。

学科概要

福祉、心理、生命・健康・環境の3つの柱から人間そのものを学びます。同じ社会の仲間として互いに尊重し支え合う「福祉のこころ」を育て、新しい福祉社会のあり方を探っていきます。福祉系資格の取得も積極的にバックアップしています。

学びの支援体制

国家試験受験対策講座で、
高い合格率
社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格の合格に向けて、対策講座を開設しています。2010年度の社会福祉士新卒合格者は34名受験・19名合格で55.9%。精神保健福祉士については7名受験・3名合格で42.9%。

北欧福祉研修
毎年3月、希望者を募り、福祉国家といわれる北欧のスウェーデン、ノルウェーなどの福祉機関や施設を訪問します。福祉体制や支援方法の違いを体感できるだけでなく、日本では得られない福祉に対する新しい視点も生まれます。

将来の活躍分野

福祉の現場で働く
心理学を生かして働く
医療機関で働く
NPOで働く
公務員になる

取得可能な資格

- 社会福祉士 (国家試験受験資格)
- 精神保健福祉士 (国家試験受験資格)
- 高等学校教諭一種免許(福祉)
- 認定心理士 ※日本心理学会認定資格
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格
- 図書館司書資格
- 学校図書館司書教諭資格

専任教員一覧



学部長 教授
牛津 信忠
社会福祉原論、
地域福祉(含む地域の福祉文化形成)



学部副チャレン 助教
左近 豊
旧約聖書学、
キリスト教概論



学科長 教授
助川 征雄
ソーシャルワーク論



教授
池 弘子
発達心理学、
障害児心理学、
児童福祉



教授
梅津 迪子
幼児体育(発育・発達)、
レクリエーション論、
スポーツとジェンダー



教授
古谷野 亘
社会老年学



教授
中谷 茂一
Child Maltreatment
(子ども虐待・ネグレクト)
に関連する子ども家庭福祉論、および家族社会学



准教授
相川 章子
精神保健福祉論、
精神保健福祉援助技術各論、
ソーシャルワーク



准教授
田村 綾子
精神保健福祉論、
ソーシャルワーク論、
スーパービジョン



准教授
野口 祐子
福祉環境論、
バリアフリー、
ユニバーサルデザイン



准教授
長谷川 恵美子
臨床心理学、カウンセリング論



助教
小山 義徳
教育心理学、認知心理学



助教
山口 圭
社会福祉学(社会福祉援助技術論・老人福祉論・介護福祉論)

主な開設科目【専門科目】

科目名	担当教員	必修/選択
共通基礎科目		
人間福祉総論	助川 征雄	◎
社会福祉原論	牛津 信忠	◎
キリスト教人間学A	左近 豊	◎
キリスト教人間学B	左近 豊	◎
死生学	横澤 義夫	△
生命倫理学	香川 知晶	△
共通基礎科目/共通関連科目		
心理学	小山 義徳	○
社会学	阿部 英之助	○
法学	松村 芳明	○
人体の構造と機能及び疾病	畷 今	△
医学概論	畷 今	△
統計学	松原 望	△
家族社会学	中谷 茂一	△
地域社会論	大高 研道	△
ボランティア論	大島 隆代	△
NPO・NGO論(国際協力)	林 明仁	△
NPO・NGO論(非営利組織)	大高 研道	△
人間福祉の探求	古谷野 亘	△
医療英語A	森 容子	△
医療英語B	森 容子	△
人間福祉学特論A		△
人間福祉学特論B		△
生命・環境学科学目群		
衛生学入門	大江 敏江	△
環境衛生学	中村 磐男	△
公衆衛生学	中村 磐男	△
環境政策論	平 修久	△
環境保全論	村上 公久	△
福祉環境論	野口 祐子	△
福祉住環境論	山田 義文	△
生命・栄養科学	菊川 忠裕	△
健康教育	梅津 迪子	△
レクリエーション論	梅津 迪子	△
社会老年学	古谷野 亘	△
リハビリテーション論	下岡 隆之	△
精神医学	高野 覚	△
精神科リハビリテーション学	田村 綾子	△
スピリチュアルケア論	窪寺 俊之/ 平山 正実/ 藤掛 明	△
子どもの遊びと発達	梅津 迪子	△
臨床社会心理学系科目群		
発達心理学A	池 弘子	△
発達心理学B	池 弘子	△
教育心理学	小山 義徳	△
社会心理学	水島 友昭	△
コミュニティ心理学	長谷川 恵美子	△
異常心理学	古澤 聖子	△
心理学研究法	小山 義徳	△
臨床心理学	長谷川 恵美子	△
カウンセリング論	吉田 沙蘭	△
精神保健学	小林 政子	△
人間関係論	中嶋 励子	△
心理学実験実習A	小山 義徳/ 長谷川 恵美子	△
心理学実験実習B	長谷川 恵美子/ 牟田 隆郎	△
社会福祉学系科目群		
相談援助の基礎と専門職	大野 和男	△
社会福祉援助技術論A	田村 綾子	△
社会福祉援助技術論B	鷹野 吉章	△
社会保障論	宮寺 良光	△
児童福祉論	池 弘子	△
高齢者福祉論	山口 圭	△
障害者福祉論	増田 公香	△
公的扶助論	宮寺 良光	△

科目名	担当教員	必修/選択
地域福祉論	牛津 信忠	△
精神保健福祉論	相川 章子/ 大野 和男/ 行實 志都子	△
ソーシャルワーク論	助川 征雄	△
精神保健福祉援助技術各論	相川 章子	△
介護概論	高山 法子	△
介護技術	高山 法子	△
社会福祉運営管理論	早坂 聡久	△
社会調査の基礎	鷹野 吉章	△
社会調査の実際	古谷野 亘	△
福祉行政と福祉計画	大塚 健一	△
保健医療サービス	中村 磐男	△
権利擁護と成年後見制度	田村 綾子	△
就労支援サービス	野口 勝則	△
更生保護制度	三澤 孝夫	△
社会福祉援助技術演習A	中谷 茂一/ 野口 祐子/ 田村 綾子	△
社会福祉援助技術演習B	野口 祐子/ 山口 圭	△
社会福祉援助技術演習C	山口 圭	△
社会福祉援助技術演習D	田村 綾子/ 山口 圭	○
社会福祉援助技術演習E(108W編入生用)	山口 圭	○
精神保健福祉演習	相川 章子	○
精神保健福祉援助演習	相川 章子/ 松原 玲子	△
社会福祉学特講	田村 綾子/ 山口 圭	△
社会福祉援助技術現場実習指導I	中谷 茂一/ 野口 祐子	△
社会福祉援助技術現場実習指導II	山口 圭	○
社会福祉援助技術現場実習	池 弘子/ 川上 るり子/ 山口 圭	△
精神保健福祉援助実習	相川 章子/ 田村 綾子/ 松原 玲子	△
演習科目		
専門演習(児童福祉論)I	池 弘子	○
専門演習(児童福祉論)II	池 弘子	○
専門演習(子ども家庭論)I	中谷 茂一	○
専門演習(子ども家庭論)II	中谷 茂一	○
専門演習(高齢者福祉論)I	古谷野 亘	○
専門演習(高齢者福祉論)II	古谷野 亘	○
専門演習(福祉環境論)I	野口 祐子	○
専門演習(福祉環境論)II	野口 祐子	○
専門演習(地域福祉論)I	牛津 信忠	○
専門演習(地域福祉論)II	牛津 信忠	○
専門演習(レクリエーション論)I	梅津 迪子	○
専門演習(レクリエーション論)II	梅津 迪子	○
専門演習(カウンセリング論)I	長谷川 恵美子	○
専門演習(カウンセリング論)II	長谷川 恵美子	○
専門演習(学習・教育心理学)I	小山 義徳	○
専門演習(人間関係論)I	小山 義徳	○
専門演習(精神保健福祉論)I	相川 章子	○
専門演習(精神保健福祉論)II	相川 章子	○

必修科目:◎ 必修選択科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
専門演習(ソーシャルワーク論)I	助川 征雄	○
専門演習(ソーシャルワーク論)II	助川 征雄	○
専門演習(福祉倫理)I	左近 豊	○
専門演習(福祉倫理)II	左近 豊	○
専門演習(生活支援論)I	田村 綾子	○
卒業研究(児童福祉論)I	池 弘子	○
卒業研究(児童福祉論)II	池 弘子	○
卒業研究(子ども家庭論)I	中谷 茂一	○
卒業研究(子ども家庭論)II	中谷 茂一	○
卒業研究(高齢者福祉論)I	古谷野 亘	○
卒業研究(高齢者福祉論)II	古谷野 亘	○
卒業研究(福祉環境論)I	野口 祐子	○
卒業研究(福祉環境論)II	野口 祐子	○
卒業研究(地域福祉論)I	牛津 信忠	○
卒業研究(地域福祉論)II	牛津 信忠	○
卒業研究(レクリエーション論)I	梅津 迪子	○
卒業研究(レクリエーション論)II	梅津 迪子	○
卒業研究(カウンセリング論)I	長谷川 恵美子	○
卒業研究(カウンセリング論)II	長谷川 恵美子	○
卒業研究(人間関係論)I	小山 義徳	○
卒業研究(人間関係論)II	牟田 隆郎	○
卒業研究(精神保健福祉論)I	相川 章子	○
卒業研究(精神保健福祉論)II	相川 章子	○
卒業研究(ソーシャルワーク論)I	助川 征雄	○
卒業研究(ソーシャルワーク論)II	助川 征雄	○
卒業研究(福祉倫理)I	左近 豊	○
卒業研究(福祉倫理)II	左近 豊	○
卒業演習(児童福祉論)	池 弘子	○
卒業演習(子ども家庭論)	中谷 茂一	○
卒業演習(高齢者福祉論)	古谷野 亘	○
卒業演習(障害者福祉論)	池 弘子	○
卒業演習(福祉環境論)	野口 祐子	○
卒業演習(地域福祉論)	牛津 信忠	○
卒業演習(レクリエーション論)	梅津 迪子	○
卒業演習(カウンセリング論)	長谷川 恵美子	○
卒業演習(人間関係論)	小山 義徳	○
卒業演習(精神保健福祉論)	相川 章子	○
卒業演習(ソーシャルワーク論)	助川 征雄	○
卒業演習(福祉倫理)	左近 豊	○
卒業論文		△

※科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

履修について

基礎科目

教養・総合科目

政治経済学科

コミュニケーション

欧米文化学科

日本文化学科

児童学科

人間福祉学科

資格関連科目

その他の

大学院

47

資格関連科目

中学・高等学校教諭教職課程、図書館情報学課程の履修をする際に必要な科目群です。

教職科目:◇ 選択科目:△

開設科目

科目名	担当教員	必修/選択/教職
教育の基礎理論に関する科目		
教師論	小川 洋	◇
教育原理	小川 洋	◇
教育心理学	小山 義徳	◇
教育経営	仲田 康一	◇
教育社会学	小川 洋	◇
日本教育史	石津 靖大	◇
教育課程および指導法に関する科目		
教育方法論	小川 洋	◇
道徳教育の研究	石井 昇	◇
特別活動の理論と方法	石井 昇	◇
社会科地理・ 歴史的分野教育法	石井 昇	◇
社会科公民的分野教育法	石井 昇	◇
社会科授業研究Ⅰ	石井 昇	◇
社会科授業研究Ⅱ	石井 昇	◇
公民科教育法	小川 洋	◇
地理歴史科教育法	小川 洋	◇
英語科教育法Ⅰ	長崎 睦子	◇
英語科教育法Ⅱ	小川 隆夫	◇
英語科教育法Ⅲ	長崎 睦子	◇
英語科教育法Ⅳ	長崎 睦子	◇
国語科教育法Ⅰ	林 教子	◇
国語科教育法Ⅱ	熊谷 芳郎	◇
国語科教育法Ⅲ	林 教子	◇
国語科教育法Ⅳ	熊谷 芳郎	◇
情報科教育法Ⅰ	石部 公男	◇
情報科教育法Ⅱ	石部 公男	◇
生徒指導・教育相談および進路指導案に関する科目		
生徒指導論 (進路指導を含む)	小川 洋	◇
教育相談 (カウンセリングを含む)	山田 麻有美	◇
教育実習		
中学校教育実習	小川 洋/熊谷 芳郎/長崎 睦子	◇
高等学校教育実習	小川 洋/熊谷 芳郎/ 長崎 睦子/中谷 茂一	◇

科目名	担当教員	必修/選択/教職
司書に関する科目		
生涯学習概論	小池 茂子	△
図書館概論	若松 昭子	△
図書館経営論	河島 茂生	△
図書館資料論	岡谷 大	△
資料組織概説(目録)	榎本 裕希子	△
資料組織演習(目録)	榎本 裕希子	△
資料組織概説(分類)	河島 茂生	△
資料組織演習(分類)	河島 茂生	△
情報サービス概説	気谷 陽子	△
レファレンスサービス演習	気谷 陽子	△
情報検索演習	坂内 悟	△
図書館サービス論	岡谷 大	△
児童資料論	黒沢 克朗	△
児童サービス論	黒沢 克朗	△
専門資料論	岡谷 大	△
インターネット時代の情報 資源活用	若松 昭子	△
コミュニケーション論	田村 貴紀	△
情報機器論	田村 貴紀	△
図書館実習	若松 昭子	△
図書館学演習	若松 昭子	△
司書教諭に関する科目		
学校経営と学校図書館	斉藤 規	△
学校図書館メディアの構成	若松 昭子	△
学習指導と学校図書館	米谷 茂則	△
読書と豊かな人間性	斉藤 規	△
情報メディアの活用	河島 茂生	△

※1 科目名、担当教員等の情報は、2011年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

※2 資格取得のためには上記以外の科目の履修も必要です。また上記以外の資格の取得も可能です。詳細は、オープンキャンパス等でお尋ね下さい。

司書講習・司書教諭講習 実施概要(2010年度)

講習期間

司書講習	司書教諭講習
7月23日～9月24日	8月4日～8月28日

受講人数

	司書	司書教諭
全受講	97	14
部分受講	12	49
合計	109	63

受講生内訳(職業別)

司書	
図書館勤務(うち専任)	15(1)
その他社会人	70
学生(他大学)*	24
司書教諭	
教員(現職)	20
その他社会人	12
学生(うち本学学生)	31(22)

※本学学生は、司書課程内での資格取得を原則とするため司書講習は受講できません。

教育職員免許状・資格取得者数一覧(2004~2010年度)

種別	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004
高等学校教諭一種	国語	5	10	9	15	17	8
	英語	9	9	3	11	10	10*
	福祉	2	1	3	3	5	20
	地理歴史	2	1	6	2	1	2
	公民	0	1	3	0	5	6
中学校教諭一種	情報	0	1	2	1	—	—
	国語	4	10	8	13	11	7
	英語	9	9	3	9	6	7
社会	1	0	8	1	5	6	
小学校教諭一種	44	20	—	—	—	—	—
幼稚園教諭一種	78	95	107	97	100	122	106
保育士	59	89	107	93	99	122	110
図書館	司書	39	30	18	23	36	23
	司書教諭	27	7	6	6	7	3
社会教育主事	10	2	3	—	—	—	—
日本語教師*	1	3	6	6	11	6	7
社会福祉士	国家試験受験資格取得者	34	29	33	27	24	37
	合格者(うち新卒者)	22(19)	11(11)	14(14)	17(15)	24(17)	19(18)
精神保健福祉士	国家試験受験資格取得者	7	7	4	11	7	5
	合格者(うち新卒者)	4(3)	4(4)	4(3)	9(8)	4(4)	10(4)
認定心理士	9	26	6	14	15	8	—

※法的資格でないが「日本語教員養成課程」で必要科目を修得することで修了証明書が取得可。

教員を目指す学生による学習活動支援

聖学院大学では、市教育委員会との協定により、聖学院大学生を市の公立小学校に派遣しています。実際の教育の充実にかかわるとともに、教員を目指す学生自身の励みともなっています。

●上尾市

年度	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004
参加学校数	0	2	14	5	1	2	2
参加学生数	0	2	22	14	4	15	19

※学生数はのべ人数

●さいたま市(2010年5月提携)

年度	2010	
	アシスタントティーチャー	チャレンジスクール
参加学校数	16	2
参加学生数	16	4

社会福祉士合格率(2011年3月卒業生)上位私立大学等一覧

本学人間福祉学科では、2011年3月に卒業したもののうち、社会福祉士国家試験を受験し、19名が合格、合格率は、55.9%でした(全国合格率28.1%)。この合格率は、全国209校(受験者10名以上)の中で、44位、このうち、全国の私立大学の中では17位の成績となります。

なお、既卒者を含む総数では受験者53名、合格者22名、合格率41.5%でした。

第23回社会福祉士国家試験 学校別合格率(2010年度) 上位私立大学等の合格者数と合格率(受験者10名以上・卒業見込者のみ)

私大順位	全体順位	学校名	受験者数	合格者	合格率
1	29	日本社会事業大学大学院	11	9	81.8
2	49	日本体育大学	5	4	80.0
3	26	武蔵野大学	78	59	75.6
4	26	美作大学	35	25	71.4
5	19	白梅学園大学	33	22	66.7
5	136	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	6	4	66.7
7	22	上智大学	57	37	64.9
8	21	同志社大学	70	45	64.3
9	33	東京家政大学	22	14	63.6
10	36	新潟医療福祉大学	139	88	63.3
11	48	国際医療福祉大学	100	63	63.0
12	32	日本社会事業大学	221	138	62.4
13	31	立教大学	68	40	58.8

私大順位	全体順位	学校名	受験者数	合格者	合格率
14	57	中部学院大学通信教育部	65	38	58.5
15	54	久留米大学	89	50	56.2
16	36	日本福祉大学通信教育部	732	410	56.0
17	44	聖学院大学	34	19	55.9
18	45	立命館大学	62	34	54.8
19	67	東北福祉大学	175	94	53.7
20	39	関西学院大学	94	50	53.2
21	43	東北福祉大学通信教育部	160	85	53.1
22	42	秋田看護福祉大学	38	20	52.6
23	97	大阪医療福祉専門学校	21	11	52.4
24	34	早稲田大学	54	28	51.9
25	63	日本福祉大学	515	265	51.5

※全体順位は、福祉系大学等における順位

履修について

基礎科目

教養・総合科目

政治経済学科

コミュニケーション

欧米文化学科

日本文化学科

児童学科

人間福祉学科

資格関連科目

学部のほか

大学院

専任教職員数 (2011年4月1日現在)

大学									大学院		総合研究所		
学科	政治経済	コミュニティ政策	欧米文化	日本文化	児童	人間福祉	基礎総合教育部		教授	18	教授	4	
教授	8	7	12	7	9	6	0		准教授	1	准教授	1	
准教授	7	6	3	5	5	5	0		講師	0	講師	3	
講師	0	0	0	0	1	0	0		合計	19	助教	2	
助教	1	2	0	2	1	3	0		事務職員			研究員	1
助手	0	0	0	0	0	0	1		職員	85	合計	11	
特任教員(講師・助手)	0	4	0	0	2	0	8	総計	合計	85			
合計	16	19	15	14	18	14	9						

アセンブリアワー

主なプログラム内容(2010年度)

開催時期	主なプログラム内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> 学長講話 自己プロGRESSフォローアップセミナー (2年生) キャリアアプローチフォローアップセミナー (3年生) 基礎計算演習講座 (コミュニティ政策学科1~3年希望者) マナー講座 (児童学科1年)
5月	<ul style="list-style-type: none"> 春のキリスト教週間 ゴスペルコンサート (教会音楽家・久米小百合) 春のキリスト教週間 講演会「有神論と理想的民主主義」(長老会神学大学校総長・張栄日) 基礎計算演習講座 (コミュニティ政策学科1~3年希望者) 海外研修説明会/国際ボランティア説明会 (欧米文化学科) 講演会「ブックスタート」 (児童学科) キリスト教保育実践講座 (児童学科3・4年) 児童文化レクチャー (児童学科1年) 講演会「フィンランドの教育と福祉」 (人間福祉学科) ボランティア祭 (人間福祉学科2年以上)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ジョブフェア (4年生) 英語スピーチコンテスト 就職キックオフガイダンス (3年生) おもしろそうから始まるNPO2010 (コミュニティ政策学科) コミュニティ政策学科講演会 (外部講演会参照) TOEFL-ITP (欧米文化学科) 海外文化交流研修説明会 (日本文化学科) 埼玉県特別支援課の講座 (児童学科) 教職に関する説明会 (児童学科) 専門演習・保育実習説明会 (児童学科) 保育実習事前指導 (児童学科) 北欧福祉研修報告会 (人間福祉学科) 実習・専門演習ガイダンス (人間福祉学科2年)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 就職活動キックオフガイダンス (3年生対象) 食と農のフォーラム (政治経済学部) (外部講演会参照) 社会福祉士・精神保健福祉士って何? (人間福祉学科) 卒業生を招いて (人間福祉学科)
9月	<ul style="list-style-type: none"> 海外研修説明会 (児童学科)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ジョブフェア (4年生対象) 蒙州クイーンズランド大学環境スクール報告会 (政治経済学科) コミュニティ政策学科講演会 (外部講演会参照) 学生研修発表会/ハロウィーン (欧米文化学科) 海外文化交流研修報告会/教育実習報告会 (日本文化学科) 人形劇公演 (児童学科) 北欧福祉研修説明会 (人間福祉学科) 講演会「ドイツ国際平和村の子どもたち」(人間福祉学科・欧米文化学科) 永井先生特研報告会 (児童学科) 創立記念礼拝・講演会 (外部講演会参照)
11月	<ul style="list-style-type: none"> 創立記念講演会「生きる意味と教養」(東京大学大学院教授・姜尚中) 創立記念講演会「大人であること・子どもであること」(本学大学院教授・片柳榮一) 政治経済学部講演会 (外部講演会参照) コミュニティ政策学科講演会 (外部講演会参照) 留学生日本語弁論大会 卒論中間発表会/副専攻制度説明会/TOEFL-ITP (欧米文化学科) 卒業論文テーマ発表会/保育実習事後指導 (児童学科) 人間福祉学科講演会 (外部講演会参照) 北欧研修説明会 (人間福祉学科) 卒論中間報告会 (人間福祉学科)
12月	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス礼拝 卒論中間発表会 (政治経済学科) コミュニティリーダーシンポジウム/公務員試験対策 (コミュニティ政策学科) クリスマス準備 (欧米文化学科) 3年生キャリアガイダンス (欧米文化学科) 卒論中間発表会 (日本文化学科) 専門演習Ⅱゼミ分け説明会 (日本文化学科) 学会講演会 (日本文化学科) 保育実習事後指導 (児童学科) 卒論中間報告会/実習ガイダンス/就職ガイダンス (人間福祉学科)
1月	<ul style="list-style-type: none"> SLEPテスト (1年生) NPO小千谷報告会 (コミュニティ政策学科) 欧米文化学科講演会 (外部講演会参照) 幼稚園実習事前指導 (児童学科) 保育実習事後指導 (児童学科) 実習報告会 (児童学科) TOEFL-ITP (欧米文化学科) 最終講義/実習ガイダンス (人間福祉学科)

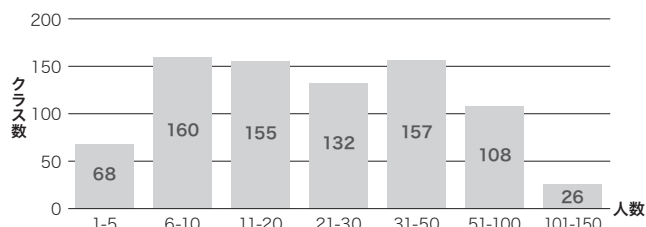
※そのほか、学科別の学生相談日、ゼミ交流会、キャリアサポートセンター主催就職活動支援プログラムなどが開催されています。

授業・履修状況

クラス規模状況

2010年度 春学期

(2010年5月21日現在)

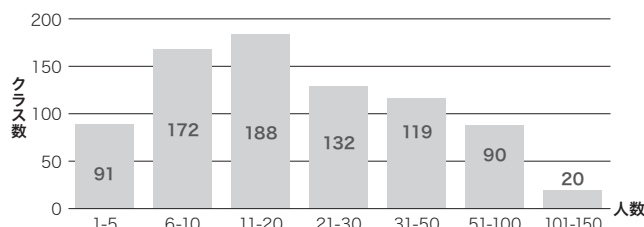


講義科目・履修者数(在宅学習を除く)

最大153名	日本史概説B
最小1名	Living & Studying Abroad ほか8クラス

2010年度 秋学期

(2010年11月24日現在)



※「基礎教育入門(コンピュータ基礎)A・B」(在宅学習を除く)。

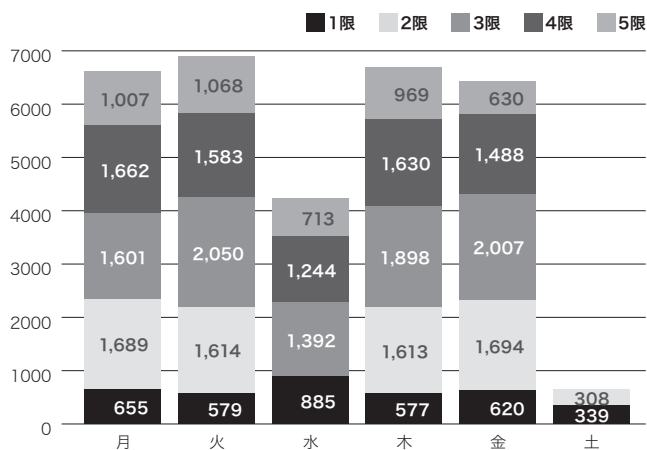
講義科目・履修者数(在宅学習を除く)

最大135名	キリスト教社会倫理A
最小1名	日本語で学ぶ(日本の文化) ほか9クラス

曜日・時限別履修者数

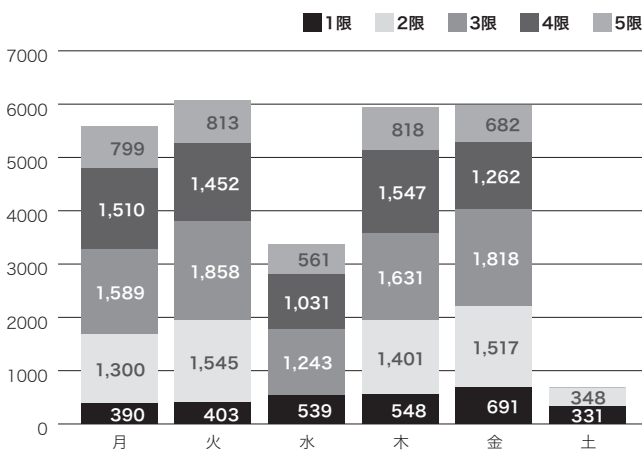
2010年度 春学期

開講時限	月	火	水	木	金	土	総計
1限	655	579	885	577	620	339	3,655
2限	1,689	1,614	アセンブリ アワー	1,613	1,694	308	6,918
3限	1,601	2,050	1,392	1,898	2,007	—	8,948
4限	1,662	1,583	1,244	1,630	1,488	—	7,607
5限	1,007	1,068	713	969	630	—	4,387
総計	6,614	6,894	4,234	6,687	6,439	647	31,515



2010年度 秋学期

開講時限	月	火	水	木	金	土	総計
1限	390	403	539	548	691	331	2,902
2限	1,300	1,545	アセンブリ アワー	1,401	1,517	348	6,111
3限	1,589	1,858	1,243	1,631	1,818	—	8,139
4限	1,510	1,452	1,031	1,547	1,262	—	6,802
5限	799	813	561	818	682	—	3,673
総計	5,588	6,071	3,374	5,945	5,970	679	27,627



学部科目等履修生実績(2010年度)

	2010	2009	2008
履修科目数	26	23	20
人数	8	10	7

リカレント教育講座(2008~2010年度)

	2010		2009		2008	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
受講者数	47	61	56	51	54	56
講座数	8	18	8	11	9	15

聖学院大学では埼玉県と協定し、2007年度より団塊世代・高齢者を対象とした開放授業講座(リカレント教育講座)を開講しています。

履修について
基礎科目
教養・総合科目
政治経済学科
コミュニケーション
政策学科
欧米文化学科
日本文化学科
児童学科
人間福祉学科
資格関連科目
その他の
学部アワード
大学院

GP等教育支援プログラム

21世紀に入り、国の内外を問わず多くの深刻な問題が発生する中で、教育の重要性はますます広く深く認識されてきています。こうした事態を真摯に受けとめ、聖学院大学はこれまで守り続けてきた教育の基本精神にもとづきながら、同時に現代の諸問題と取り組み、教育の質の向上にむけての改革を進めてきました。そうした改革の取組のいくつかは、文部科学省が行う大学教育改革プロジェクト支援(教育GP)の対象として採択されています。

採択プログラム名	取得年度	担当部署	取組内容
「大学教育・学生支援推進事業 【テーマB】学生支援推進プログラム」	2009年度 (平成21年度)	キャリアサポート センター	<p>『人的ネットワークによるチーム就職活動』</p> <p>同プログラムは、就職活動にチーム制を導入し、希望する就職を実現するものです。さまざまな「人的ネットワーク」を導入し、視野範囲が狭くなりがちな就職活動に、柔軟な軌道修正力や、豊富な知識との出会い・習得による本物の企業選定力などを習得させることが目的です。</p> <p>本来、個人で行う就職活動にチーム制を導入することで、(1)同時進行の共通失敗体験や同じ悩みを抱えるチームメイトが全員で対応策を考える機会を設けることによるストレス耐性力UP、(2)チームメイトより早く内定をとりたいというモチベーションUP、(3)就職活動中に自分の活動ベースが分からないという不安に対して、常にチーム内の自分の位置が分かり、不安感の解消効果などが期待できます。</p> <p>人的ネットワークとしては、4年生就職活動修了者、教職員、企業、家族等を活用し、アサーション力、ファンリテーター研修会や企業と教職員及び企業との交流会等により連携構築を実現する取組です。</p>
「大学教育・学生支援推進事業 【テーマA】大学教育推進プログラム」	2009年度 (平成21年度)	人文学部 欧米文化学科	<p>『生きるための人文学へ向けた学びの基礎力』</p> <p>欧米文化学科の教育的使命は、急速に変貌しつつあるグローバル化の時代において活躍できる国際人の育成にあります。人文学部に属する本学科は、旧来の知識習得偏重型の人文学ではなく、そうした時代を生きるために必要な「能力」を育成する人文学の教育を目指しています。そのような人文学の体系的な専門教育課程を構築するためには、それに必要な「学びの基礎力」を初年次段階に育成するプログラムが必要です。本学科は、「読む力・考える力・調べる力・書く力」を学びの基礎力として定義し、そうした基礎力の育成を目指す取組を実施しています。</p>
「大学生の就業力育成支援事業」	2010年度 (平成22年度)	政治経済学部	<p>『ICTを活用できる職業人の育成』</p> <p>情報収集・処理能力をコミュニケーション能力という視点からも取り扱える力がICT(情報コミュニケーション技術)です。昨今の就職難の中、企業が必要とする人材が必ずしも採用できるとは限らない現状があります。特に中堅企業では今、ICTのスキルを持った人材が求められています。聖学院大学では、この能力が就業力の鍵を握ると考え、ICTを軸とした「就業力」育成プログラムを導入しました。自分の資質を見極め、社会人として活躍するための資格やスキルと考え方を身につけ、就業力の向上を目指します。</p> <p>「就業力」育成プログラム導入は、コミュニティ政策学科は2011年度から、政治経済学科は2012年度からになります。</p>

大学院

教員と主な担当科目



大学院長
大木 英夫



アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科長
高橋 義文



政治政策学研究所長
大木 雅夫



人間福祉学研究所長
郡司 篤晃

肩書	教員名	主な担当科目
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科		
教授・研究科長	高橋 義文	アメリカ文化学E / ★原書講読A・英語 / アメリカ文化学研究E演習I / ヨーロッパ文化学特殊研究
教授・大学院長	大木 英夫	キリスト教文化学研究A / アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / キリスト教文化学A演習I / 同演習II / キリスト教文化学特殊研究
教授	片柳 榮一	ヨーロッパ文化学研究C / ヨーロッパ文化学C演習I / 同演習II / 原書講読A・ラテン語 / 原書講読B・ラテン語 / アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / ヨーロッパ文化学特殊研究
教授 ^{※1}	窪寺 俊之	日本文化学特殊研究
教授 ^{※1}	郡司 篤晃	日本文化学特殊研究
教授 ^{※1}	平山 正実	日本文化学特殊研究
教授	稲田 敦子	ヨーロッパ文化学研究D
教授	新井 明	ヨーロッパ文化学研究B / アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / ヨーロッパ文化学B演習I
教授	鶴沼 裕子	日本プロテスタント文化研究 / アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / 日本文化学B演習I / 同演習II / 日本文化学特殊研究
教授	香山 壽夫	キリスト教と建築A / キリスト教と建築B / キリスト教文化学C演習I
教授	田中 浩	比較思想研究 / 日本文化学特殊研究 / 日本文化学A演習I / 同演習II
教授	古屋 安雄	アメリカ文化学研究A / アメリカ・ヨーロッパ文化学総論 / アメリカ文化学A演習I / 同演習II / アメリカ文化学特殊研究
教授 ^{※1}	大木 雅夫	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論
教授 ^{※1}	岸田 貞夫	日本文化学特殊研究
教授 ^{※1}	松原 望	日本文化学特殊研究
教授 ^{※1}	平石 雄一郎	日本文化学特殊研究
教授	鹿瀬 楓枝	★原書講読B・仏語
教授	清水 正之	日本思想文化研究
教授	原 一子	★原書講読A・独語
教授	深井 智朗	キリスト教文化学研究A / ★原書講読B・独語 / キリスト教文化学特殊研究
教授	松谷 好明	キリスト教文化学研究B / キリスト教文化学特殊研究
教授	和田 光司	★原書講読A・仏語
教授	藤原 淳賢	キリスト教文化学研究A
教授	森田 美千代	アメリカ文化学研究F / アメリカ文化学A演習I / 同演習II / 研究方法特論I / 研究方法特論II / アメリカ文化学特殊研究
准教授	左近 豊	★原書講読A・ヘブライ語 / ★原書講読B・ヘブライ語
客員教授	有賀 貞	アメリカ文化学研究B / アメリカ文化学研究B演習I / ★原書講読B・英語 / アメリカ・ヨーロッパ文化学総論
非常勤講師	柳父 圀近	ヨーロッパ文化学研究E(秋集中I)
政治政策学研究科		
教授・研究科長	大木 雅夫	欧米法制文化論 / EU法研究 / 欧米法制文化論演習I / 同演習II / テモクラシー・人権政策研究
教授	松原 望	基礎統計分析 / 計量社会科学研究 / 基礎統計分析演習I
教授	平 修久	まちづくり論研究 / まちづくり論演習I / 同演習II
教授	柴田 武男	経済学研究 / 経済学演習I

肩書	教員名	主な担当科目
教授	平石 雄一郎	租税法研究A / 租税法A演習I / 同演習II
教授	岸田 貞夫	租税法研究C / 租税法C演習I / 同演習II
教授	栗城 壽夫	憲法原論研究 / テモクラシー・人権政策研究 / 憲法原論演習I
教授 ^{※2}	田中 浩	政治思想研究 / 政治思想演習I
教授	富沢 賢治	社会政策論研究 / NPO・NGO論 / 社会政策論演習I / 同演習II
教授	阿久戸 光晴	テモクラシー・人権政策研究
教授	石部 公男	応用経済学研究
教授	後藤 兼一	情報管理論研究
教授	標 宣男	リスク科学論研究
教授	村上 公久	地球環境論研究
客員教授	小林 良彰	政治・政策学研究
客員教授	佐々木 信夫	公共政策研究 / 公共政策演習I / 同演習II
客員教授	松田 直樹	租税法研究B / 租税法B演習I / 同演習II
講師	大塚 健司	埼玉地域政策研究
非常勤講師	大森 誠司	地方財政論研究
非常勤講師	康 仁徳	北東アジア国際関係研究 / 社会政策論演習II
非常勤講師	児玉 博昭	政策評価論研究
人間福祉学研究所		
教授・研究科長	郡司 篤晃	医療・福祉政策特論I / 医療・福祉政策特論II / 医療・福祉政策論研究演習I / 同演習
教授 ^{※3}	高橋 義文	キリスト教人間学研究
教授	平山 正実	精神保健学研究 / 臨床死生学概論 / 臨床死生学特論I / グリーフケア特論 / 臨床死生学・グリーフケア研究演習I
教授	窪寺 俊之	スピリチュアルケア特論I / スピリチュアルケア特論II / スピリチュアルケア研究演習I / 同演習
教授	中村 啓男	環境保健学特論 / 同演習I
教授	池 弘子	発達心理学研究 / 発達心理学研究演習I
教授	牛津 信忠	社会福祉学研究 / 社会福祉学研究演習I / 同演習
教授	清水 正之	高齢者保健福祉特論 研究法入門 / 高齢者保健福祉研究演習I / 調査研究法I(量的研究)
教授	古谷野 巨	ソーシャルワーク研究 / 精神保健福祉研究演習I / 同演習 / ソーシャルワーク研究演習I / 同演習
教授	助川 征雄	児童学研究 / 児童学研究演習I
教授	田澤 薫	児童福祉特論 / 児童福祉研究演習I
教授	中谷 茂一	児童教育学特論 / 児童教育学研究演習I
教授	永井 理恵子	児童表現法指導特論
教授	松本 祐子	児童表現法指導特論
教授	村山 順吉	児童表現法指導特論
准教授	藤掛 明	キリスト教とカウンセリングI / キリスト教カウンセリング事例研究 / キリスト教とカウンセリング研究演習I
准教授	野口 祐子	福祉工学特論
准教授	山田 麻有美	児童・青年期心理病理特論
准教授	石川 由美子	児童・青年期心理病理特論
准教授	相川 章子	精神保健福祉特論
准教授	長谷川恵美子	臨床心理学特論
准教授	小池 茂子	児童文化特論
助教	寺崎 恵子	児童文化特論
講師	佐藤 千瀬	異文化間教育特論
非常勤講師	山崎 浩司	調査研究法II(質的研究)
非常勤講師	入江 礼子	保育・教育実践研究法

※1は政治政策学研究科、または人間福祉学研究所が主担当 ※2はアメリカ・ヨーロッパ文化学研究科、あるいは人間福祉学研究所が主担当 ※3はアメリカ・ヨーロッパ文化学研究科が主担当
★印は政策研究あるいは福祉研共通

履修について

基礎科目

教養・総合科目

政治経済学科

政策学
「ミニミニ」

欧米文化学

日本文化学

児童学

人間福祉学

資格関連科目

その他の

大学院

大学院在学学生数

2011年5月1日現在

研究科名	アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所 (博士前期)			アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所 (博士後期)			政治政策学研究所 (修士)			人間福祉学研究所 (修士)			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年(修士・博士)	5	4	3	5	7	3	10	16	2	10	4	4	31
2年(修士・博士)	5	10	2	5	5	2	10	27	2	10	6	2	48
3年(博士)	—	—	—	5	8	5	—	—	—	—	—	—	8
合計	10	14	5	15	20	10	20	43	4	20	10	6	87

社会人学生年代別在籍状況 (大学卒業後3年以上、大学等卒業後1年以上の社会人経験を有する者)

年代	人数	20代	30代	40代	50代	60代
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所(前期・後期)	30	27%	9%	18%	27%	18%
政治政策学研究所	25	56%	38%	5%	—	—
人間福祉学研究所	6	—	—	25%	50%	25%

大学院専任教員数

教授	18
准教授	1
講師	0
合計	19

修了状況

研究科名	アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所 (博士前期)	アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所 (博士後期)	政治政策学研究所 (修士)	人間福祉学研究所 (修士)	総計
2010年度	4	4	18	12	38
2009年度	3	3	18	6	30
2008年度	3	5	18	13	39

RA/TAについて

大学院生の経済的サポートと研究遂行能力を向上させるため、聖学院大学大学院ではリサーチ・アシスタント(RA)制度およびティーチング・アシスタント(TA)制度を導入し援助を行っています。

RAは、総合研究所、大学院が主催する研究会やシンポジウム、共同研究を遂行する補助業務を行います。応募対象者は博士後期課程の大学院生です。

TAは、学部で授業科目にかかわる教育上の補助業務を行います。応募対象者は修士課程/博士前期課程の大学院生です。

	RA	TA
2010年度	9	6
2009年度	8	8
2008年度	11	13

大学院科目等履修者数

	研究科科目	春学期	秋学期	合計
2010年度	文化研系	2	2	4
	政策研系	2	3	5
	福祉研系	9	14	23
	計	13	19	32
2009年度	文化研系	9	1	10
	政策研系	1	2	3
	福祉研系	12	4	16
	計	22	7	29
2008年度	文化研系	3	5	8
	政策研系	4	7	11
	福祉研系	11	9	20
	計	18	21	39

大学院修了後の主な進学先・勤務先

さいたま市役所/
本庄市市議会議員/
埼玉県/
小山市役所/
聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所博士後期課程/
合同酒精(株)/
名古屋経済大学大学院博士後期課程/
聖学院/
日本ドナルドタン(株)/
関東自動車協議会/
ヤマハ(株)/
巢鴨市役所/
財務省東京税関/
上尾市役所/
福岡県立大学/
大阪キリスト教短大/
静岡県立大学大学院博士後期課程/
九州大学大学院博士後期課程/
トリニティ・ウェスタン大学連合
カナダ神学校修士課程/
千葉商科大学大学院博士後期課程/
東武鉄道(株)/
埼玉県社会福祉事業団/
保護観察官/
東亜学園高校/
我孫子市市議会議員/
(株)ダイヤ高齢社会研究財団/
(株)日本M&Aセンター/
全国農業協同組合/
(株)日本看護協会看護教育センター/
石川県/
厚生労働省/
静岡県立大学/
文京大学付属中学校・高等学校/
帝京大学/
東京YMCA社会体育・保育専門学校/
埼玉県議会議員/
島根大学医学部/
電通/
日本私立学校振興・共済事業団/
みずほ銀行/
社会福祉協議会/
戸田翔陽高校/
(株)村山鋼材/
経済産業省/
教育委員会/
(株)ペアレックス/
深谷メンタルクリニック/
(株)ローソン/
東日本銀行/
清水建設(株)/
聖学院大学総合研究所/
浦和税理士法人/
(株)日本政策金融公庫/
TAC(株)/
(株)日本エスシーマネージメント/
(株)グローイング総研/
(株)エムエムジー経営研究所/
ハイトスコアソリューション(株)/
(株)リアル/
(財)高齢者住宅財団/
JTB日本交通公社/
東京西徳州会病院

2011年度大学院 外国籍学生在籍数

国籍名	男子	女子	総計	在留資格
中国	2	4	6	留学ビザ
ネパール	1	0	1	
アメリカ	1	0	1	その他在留資格
合計	4	4	8	